

平成28年度

埼玉県学力・学習状況調査結果

(上尾市立小・中学校 概要)

(平成28年4月14日実施)



— 夢・感動教育 あげお —
上尾市教育委員会

目 次

1	調査実施の概要	
(1)	調査期日	1
(2)	調査対象学年	1
(3)	調査対象教科	1
(4)	調査問題	1
2	学力調査の概要	
(1)	平成28年度の結果	2
(2)	平成27年度の結果	2
3	教科別調査結果(同グループ比較)	
(1)	教科別正答率	
	【小学校】	3
	【中学校】	4
(2)	領域別・観点別調査結果	
	【小学校】	6
	【中学校】	8
4	教科別調査結果(同グループ比較)	
(1)	教科別正答率	
	【小学校】	12
	【中学校】	14
(2)	領域別・観点別調査結果	
	【小学校】	16
	【中学校】	19
5	「規律ある態度」達成目標	
	(児童生徒対象質問紙調査結果一覧)	24
6	まとめ	26

1 学力調査実施の概要

(1) 調査期日

平成28年4月14日(木)

(2) 調査対象学年

小学校：第4学年・第5学年・第6学年

中学校：第1学年・第2学年・第3学年

(3) 調査対象教科等

小学校：国語、算数、質問紙

中学校第1学年：国語、数学(算数)、質問紙

中学校第2学年、第3学年：国語、数学、英語、質問紙

(4) 調査問題

埼玉県教育委員会作成

2 学力調査結果の概要

(1) 平成28年度の正答率比較結果

		小学校			中学校		
		第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	上尾市	60.4	66.2	60.8	60.7	60.0	58.0
	埼玉県	59.9	64.5	60.4	59.0	58.0	56.3
	比較	0.5	1.7	0.4	1.7	2.0	1.7
算数・数学	上尾市	68.5	69.5	65.9	64.5	60.3	63.0
	埼玉県	68.6	68.9	65.8	63.9	60.1	62.6
	比較	-0.1	0.6	0.1	0.6	0.2	0.4
英語	上尾市	-	-	-	-	60.4	61.2
	埼玉県	-	-	-	-	58.2	59.2
	比較	-	-	-	-	2.2	2.0

【考察】

平成28年度は、国語では、上尾市は全ての学年で埼玉県の平均正答率を上回っている。

算数・数学では、上尾市は小学校第4学年以外の学年で埼玉県の平均正答率を上回っている。

英語では、上尾市は中学校第2・3学年ともに埼玉県の平均正答率を上回っている。

(2) 平成27年度の正答率比較結果

		小学校			中学校		
		第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	上尾市	63.4	74.2	70.3	72.0	68.0	65.6
	埼玉県	62.0	72.8	69.0	70.6	66.5	63.9
	比較	1.4	1.4	1.3	1.4	1.5	1.7
算数・数学	上尾市	67.8	66.7	60.0	57.8	50.2	48.4
	埼玉県	67.2	66.5	59.3	58.1	49.5	47.1
	比較	0.6	0.2	0.7	-0.3	0.7	1.3
英語	上尾市	-	-	-	-	73.1	67.4
	埼玉県	-	-	-	-	70.1	66.0
	比較	-	-	-	-	3	1.4

【考察】

平成27年度は、国語では、上尾市は全ての学年で埼玉県の平均正答率を上回っている。

算数・数学では、上尾市は中学校第1学年以外の学年で、埼玉県の平均正答率を上回っている。

英語では、上尾市は中学校第2・3学年ともに埼玉県の平均正答率を上回っている。

【考察】

平成27年度と平成28年度の同学年を比較すると、国語では、小学校第5学年、中学校第1・2学年で、上尾市と埼玉県の平均正答率との比較の差で伸びが見られる。

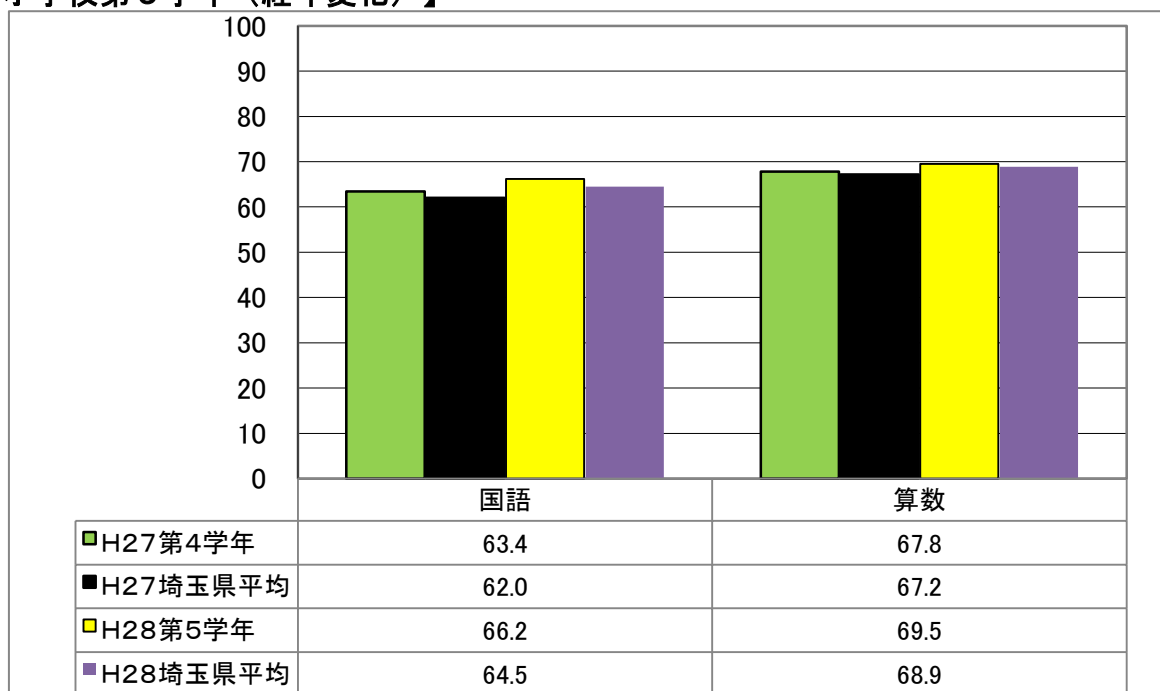
算数・数学では、小学校第5学年、中学校第1学年で、上尾市と埼玉県の平均正答率との比較の差で伸びが見られる。

英語では、中学校第3学年で、上尾市と埼玉県の平均正答率との比較の差で伸びが見られる。

3 教科別調査結果（同グループ比較）

（1）教科別正答率（同グループ比較）【小学校】

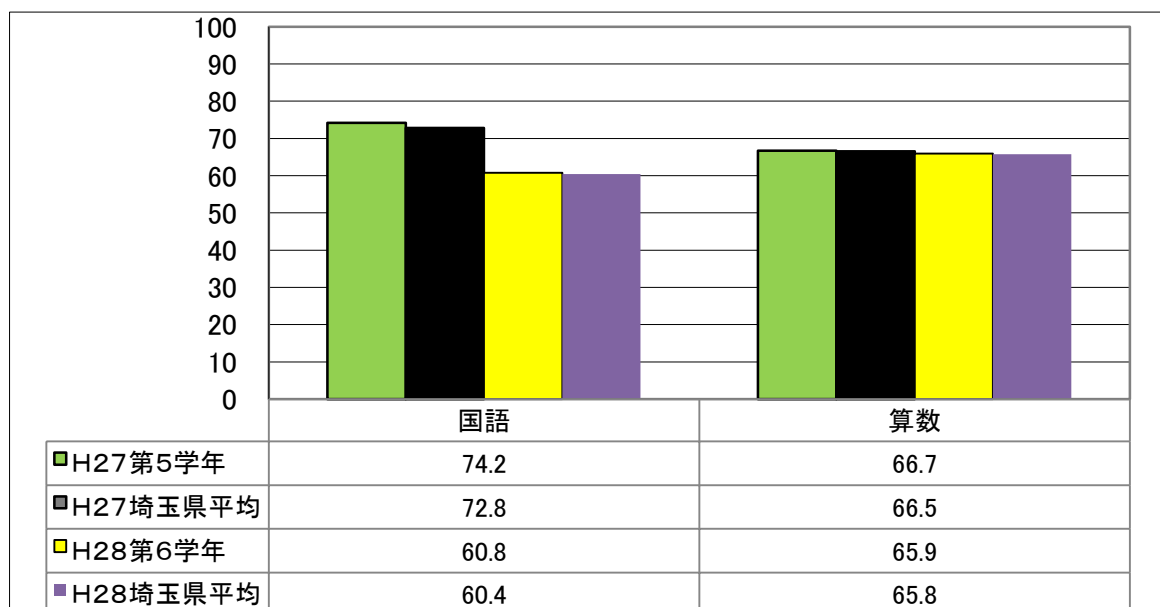
【小学校第5学年（経年変化）】



【考察】

国語の正答率の県平均比較では、今年度1.7ポイント県を上回り、昨年度より0.3ポイント向上している。
算数の正答率の県平均比較では、今年度0.6ポイント県を上回り、昨年度と同程度である。

【小学校第6学年（経年変化）】

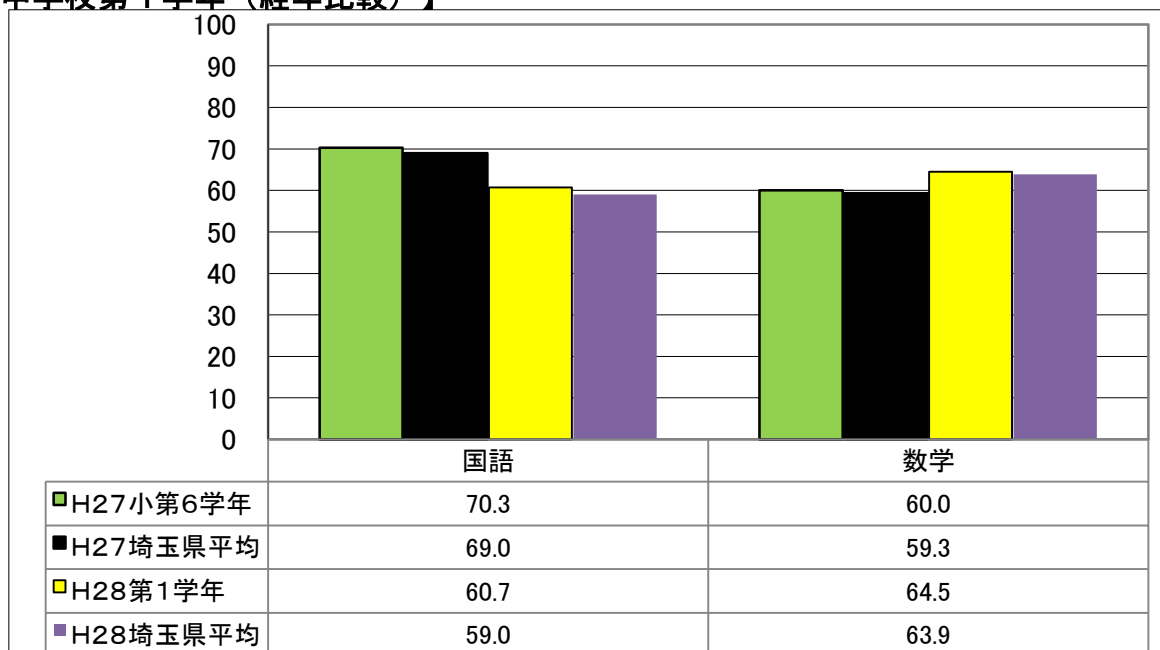


【考察】

国語の正答率の県平均比較では、今年度0.4ポイント県を上回っているが、昨年度より1.0ポイント下降している。
算数の正答率の県平均比較では、今年度0.1ポイント県を上回っているが、昨年度より0.1ポイント下降している。

教科別正答率（同グループ比較）【中学校】

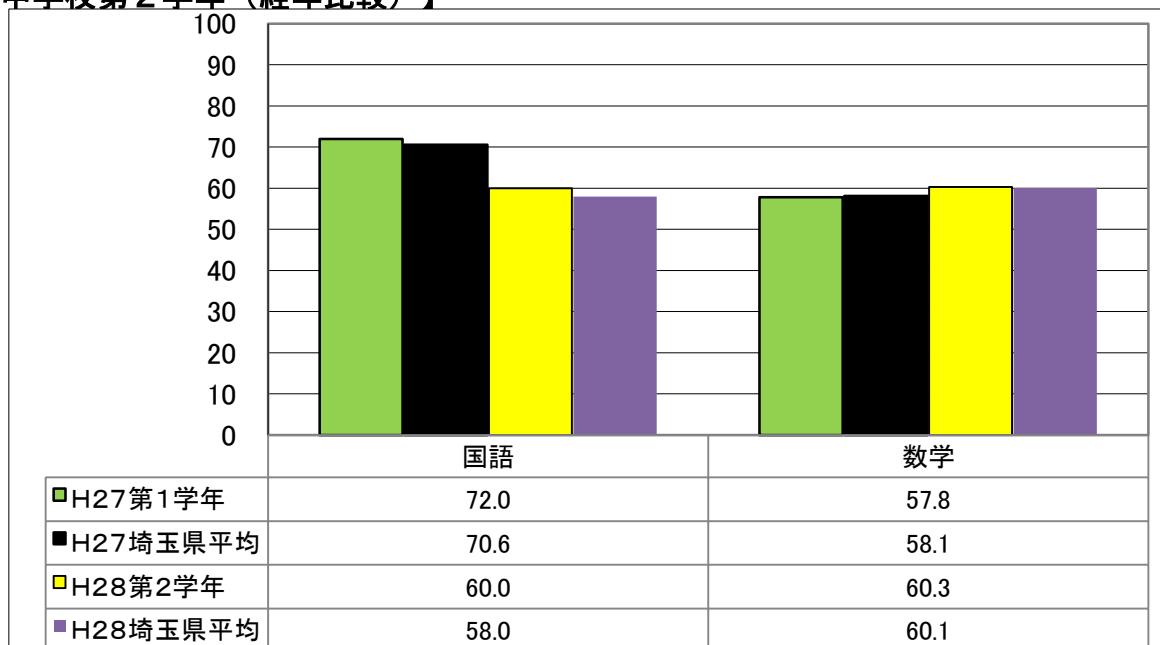
【中学校第1学年（経年比較）】



【考察】

国語の正答率の県平均比較では、今年度1.7ポイント県を上回り、昨年度より0.4ポイント向上している。
算数の正答率の県平均比較では、今年度0.6ポイント県を上回っているが、昨年度より0.1ポイント下降している。

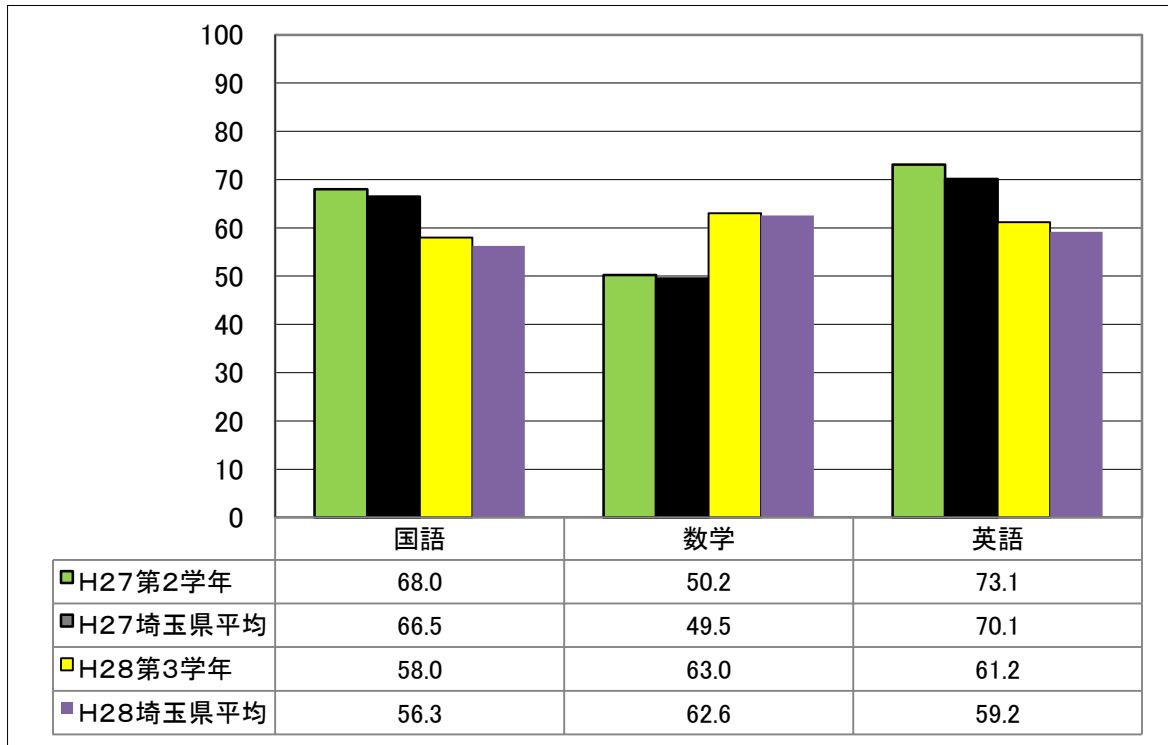
【中学校第2学年（経年比較）】



【考察】

国語の正答率の県平均比較では、今年度2.0ポイント県を上回り、昨年度より0.6ポイント向上している。
算数の正答率の県平均比較では、今年度0.2ポイント県を上回り、昨年度より0.5ポイント向上している。

【中学校第3学年（経年比較）】



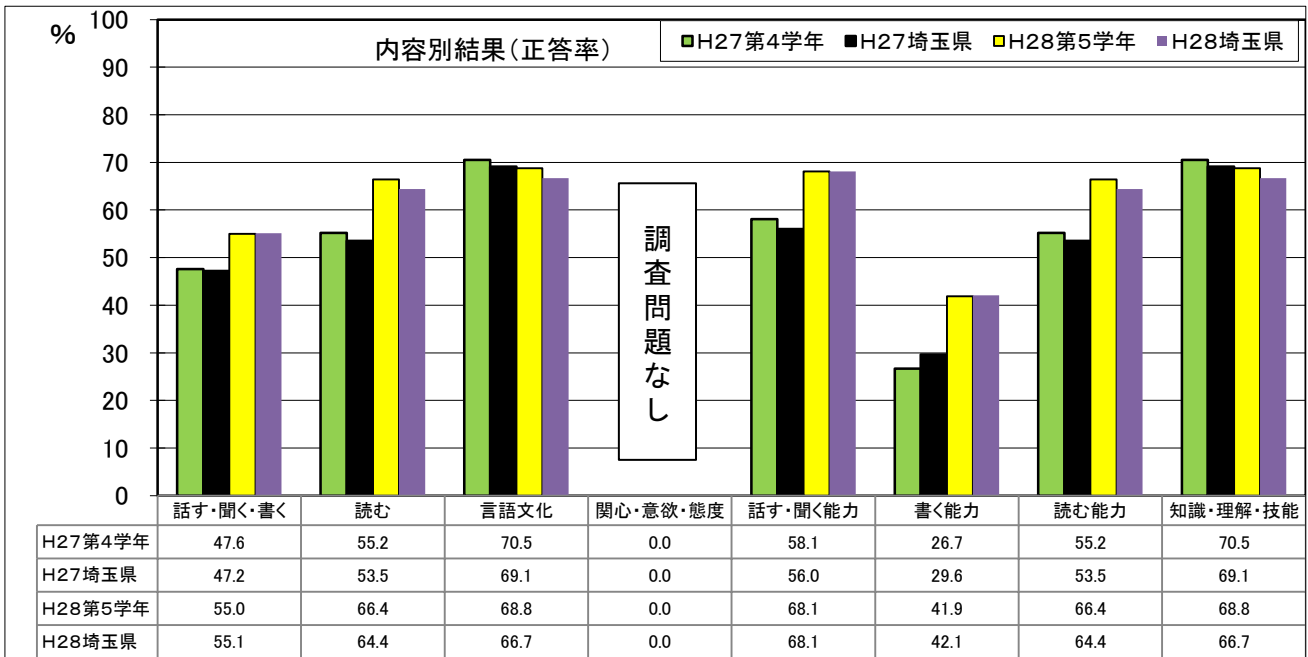
【考察】
 国語の正答率の県平均比較では、今年度1.7ポイント県を上回り、昨年度より0.2ポイント向上している。
 算数の正答率の県平均比較では、今年度0.4ポイント県を上回っているが、昨年度より0.3ポイント下降している。
 英語の正答率の県平均比較では、今年度2.0ポイント県を上回っているが、昨年度より1.0ポイント下降している。

(2) 領域別・観点別調査結果 (同グループ比較) 【小学校】

【小学校第5学年 (経年変化)】

国語

《内容別結果》



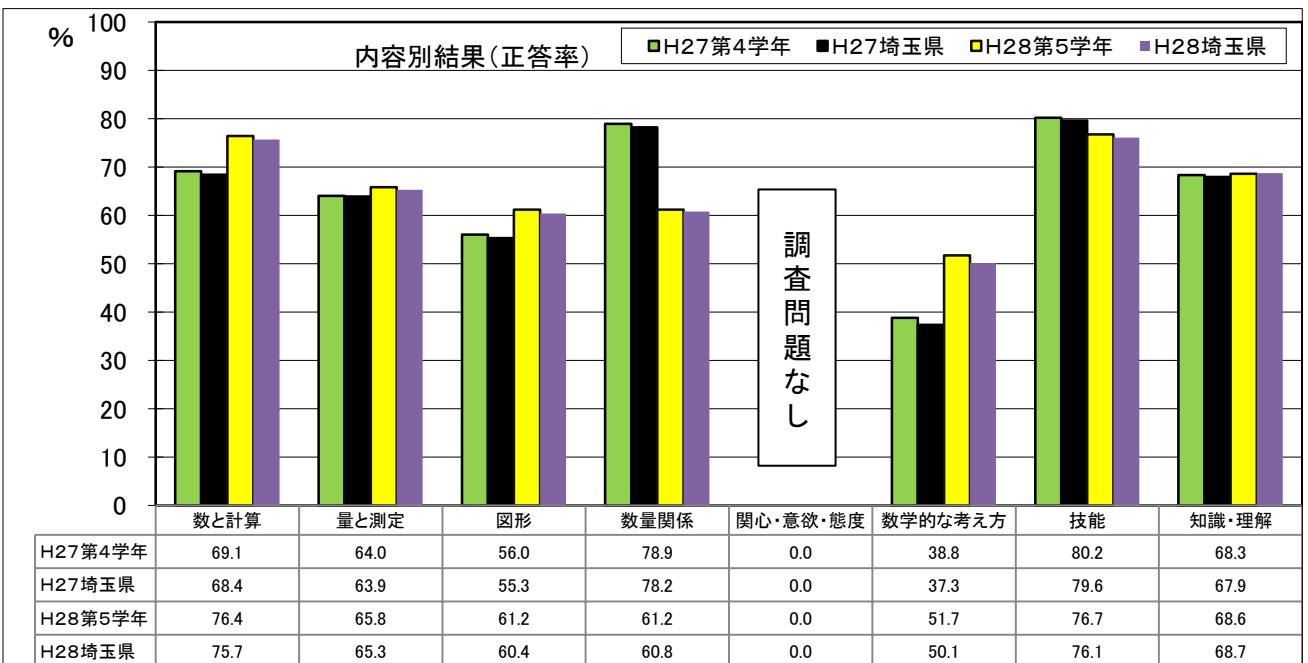
【考察】

平成28年度は、領域別の「話すこと・聞くこと・書くこと」以外、観点別の「書く能力」以外で、県平均を上回っている。

前年に比べ、領域別では、「言語文化」以外、観点別では「知識・理解・技能」以外で、正答率が上がっている。県平均との差を比較すると、領域別の「読むこと」「言語文化」、観点別の「書く能力」「読む能力」「知識・理解」で向上が見られる。

算数

《内容別結果》



【考察】

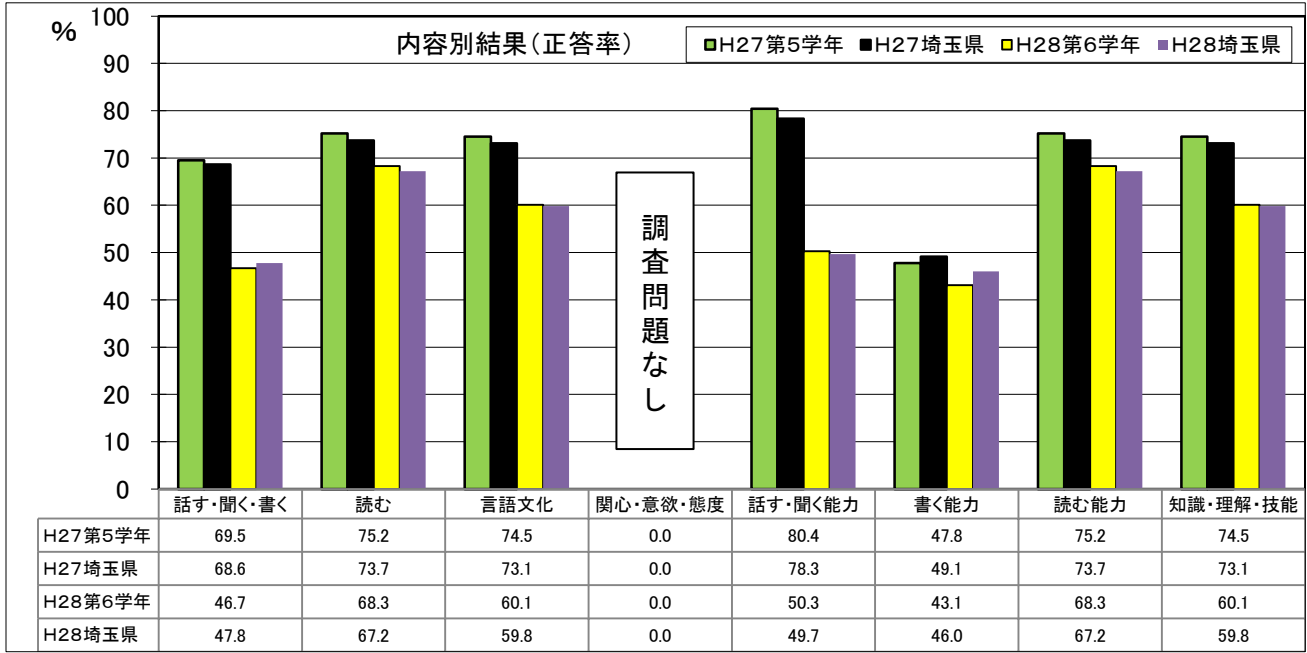
平成28年度は、観点別の「知識・理解」以外の領域、観点で県平均を上回っている。

昨年度と比較して、領域別では「数量関係」以外、観点別では「技能」以外で正答率が上がっている。県平均との差を比較すると、領域別の「量と測定」「図形」、観点別の「数学的な考え方」で向上が見られる。

【小学校第6学年（経年変化）】

国語

《内容別結果》

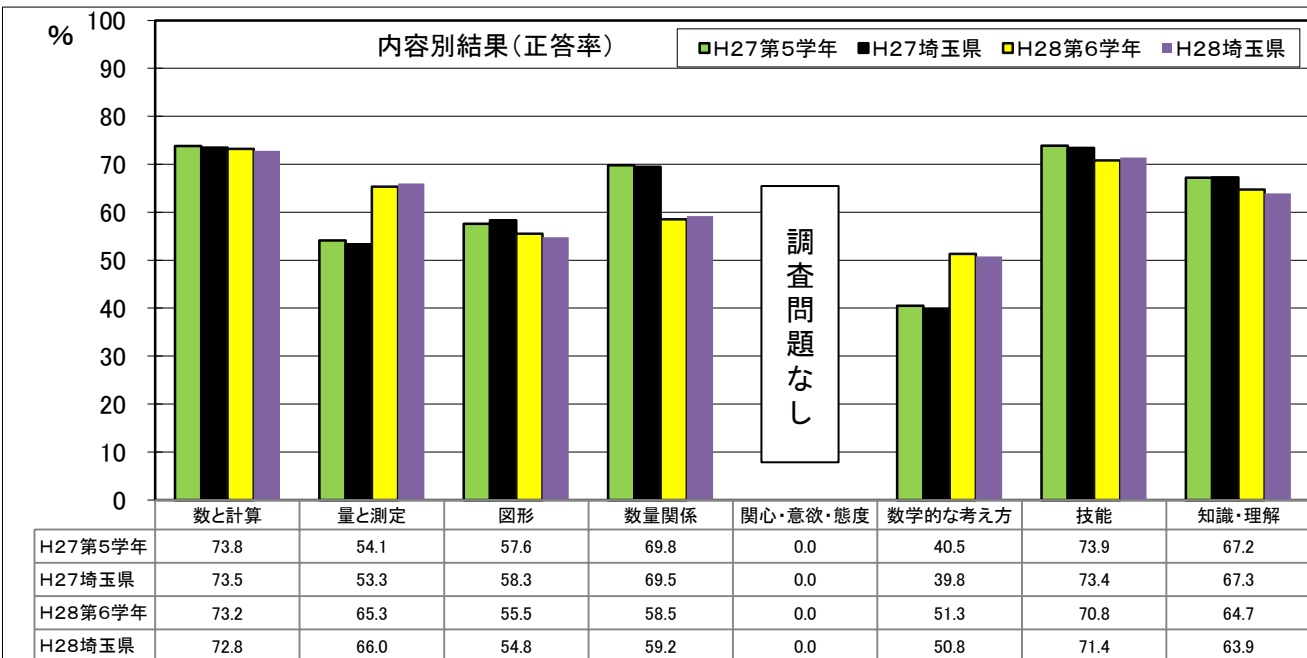


【考察】

平成28年度は、領域別の「話すこと・聞くこと・書くこと」以外、観点別の「書く能力」以外で、県平均を上回っている。前年に比べて、全ての領域、観点で、正答率は下降している。県平均との差を比較でも、全体的に下降傾向が見られる。

算数

《内容別結果》



【考察】

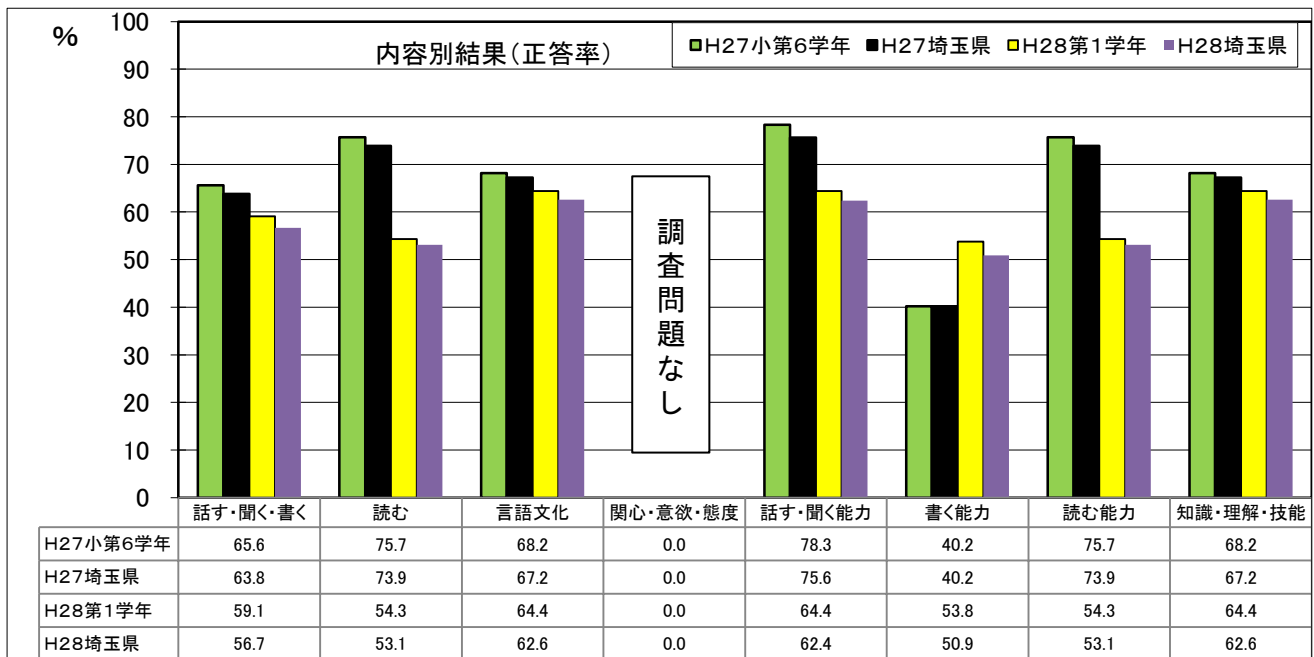
平成28年度は領域別の「量と測定」「数量関係」以外、観点別の「技能」以外で県平均を上回っている。前年に比べて、領域別の「量と測定」、観点別の「数学的な考え方」で正答率が上昇している。県平均との差を比較では、領域別の「数と計算」「図形」、観点別の「知識・理解」で向上が見られる。

領域別・観点別調査結果（同グループ比較）【中学校】

【中学校第1学年（経年変化）】

国語

《内容別結果》

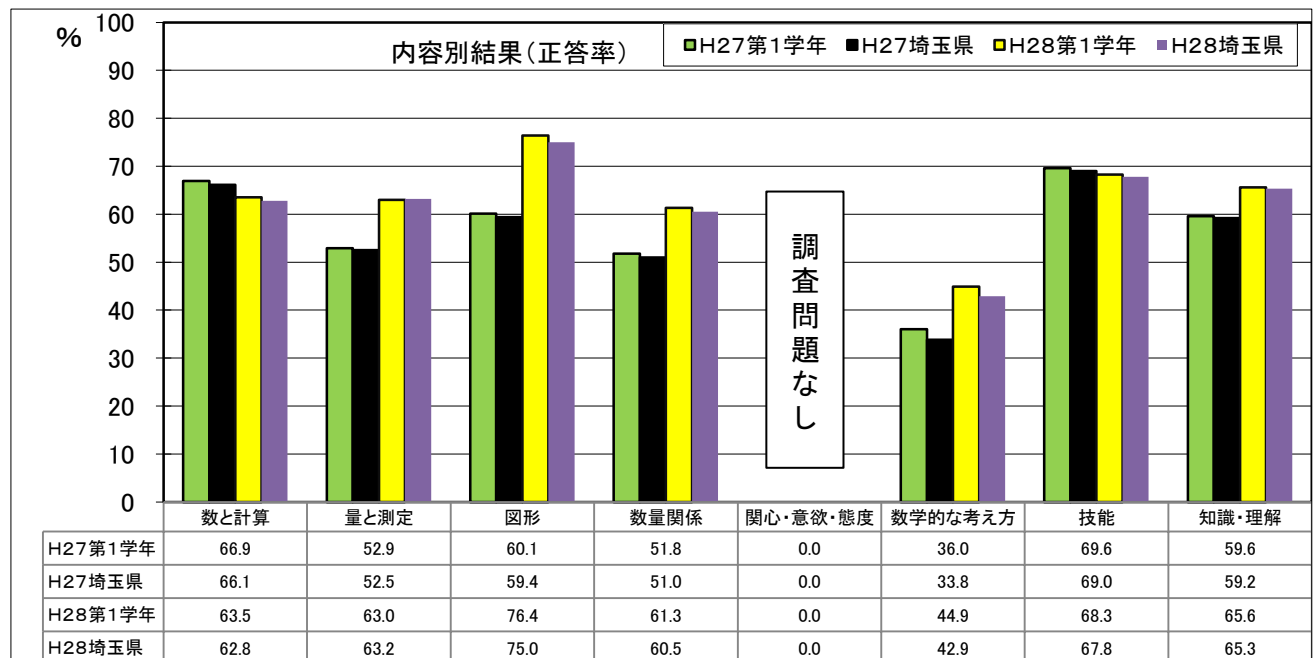


【考察】

平成28年度も全ての領域・観点で、埼玉県の平均を上回っている。
前年に比べ、観点別の「書く能力」で正答率が上がっている。県平均との差を比較すると、領域別の「読むこと」以外、観点別の「話す・聞く能力」「読む能力」以外で向上が見られる。

数学(算数)

《内容別結果》



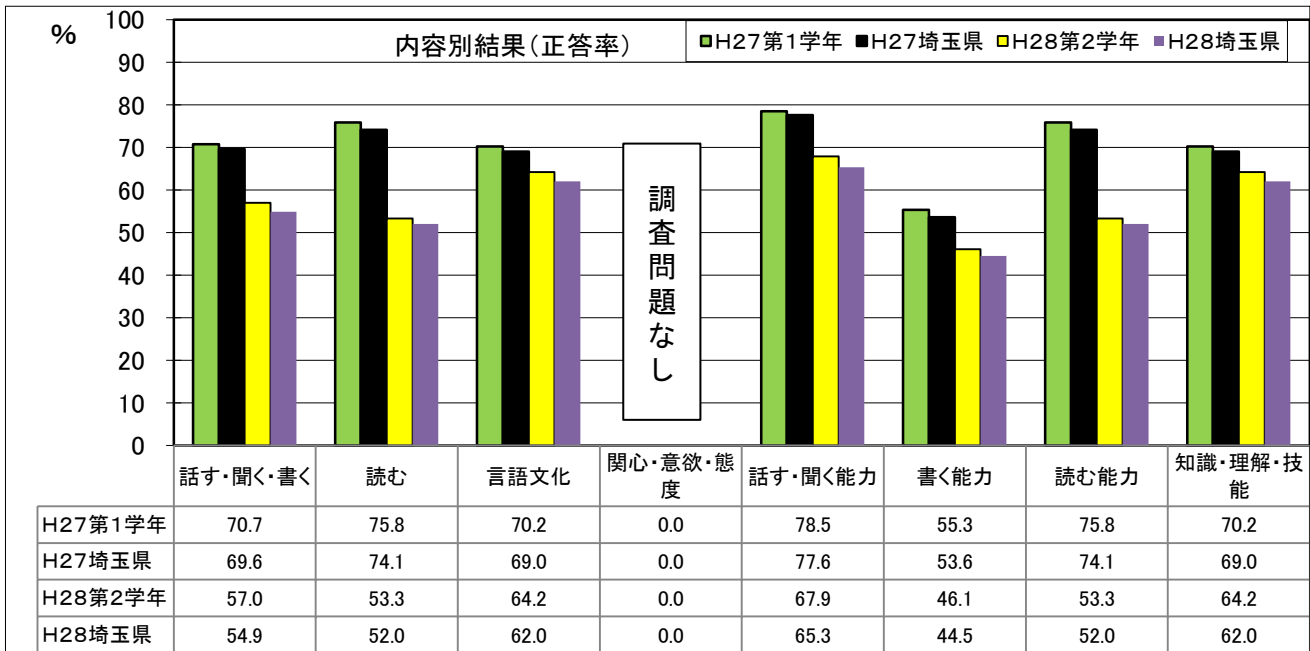
【考察】

平成28年度は、領域別の「量と測定」以外の領域、観点で県平均を上回っている。
前年度と比較すると、領域別の「数と計算」以外、観点別の「技能」以外で正答率を上回っている。県平均との差を比較すると、領域別の「図形」で向上が見られる。

【中学校第2学年（経年変化）】

国語

《内容別結果》

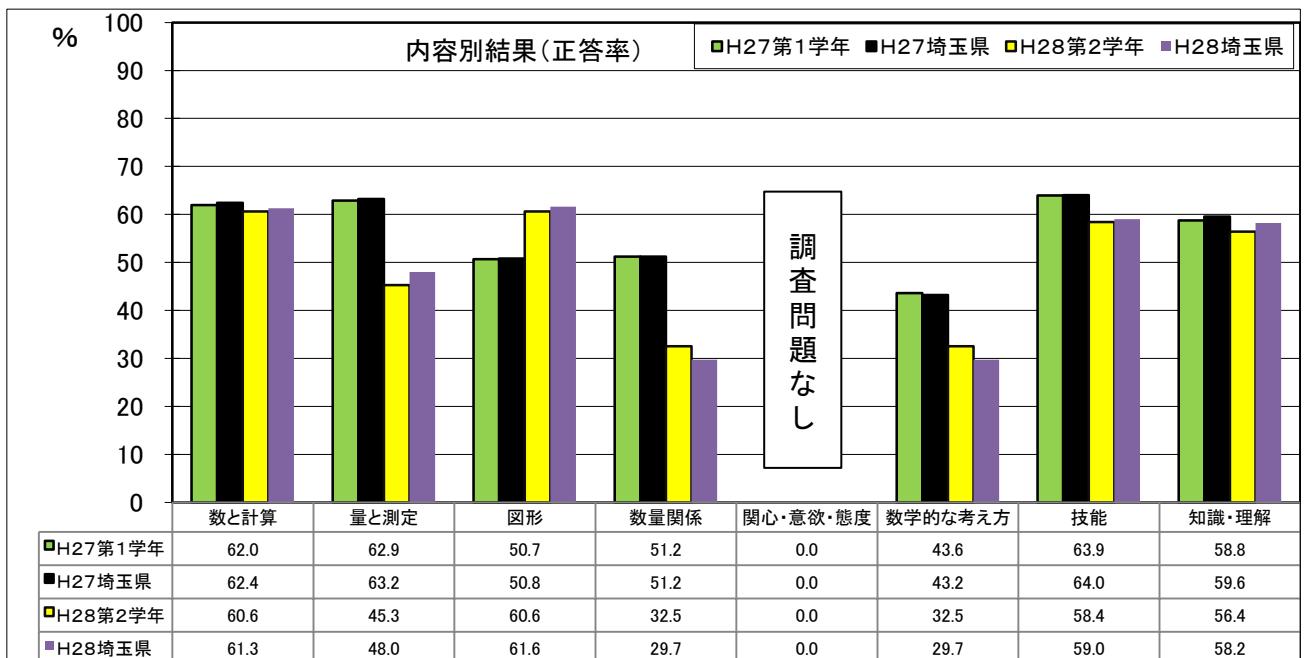


【考察】

平成28年度も、全ての領域、観点で県平均を上回っている。
前年度と比べて、正答率では全ての領域、観点で下回っているが、県平均との差を比較すると領域別の「読むこと」以外、観点別の「書く能力」「読む能力」以外で向上が見られる。

数学(算数)

《内容別結果》 ※経年変化のため、小学校算数の領域・観点で比較しています。



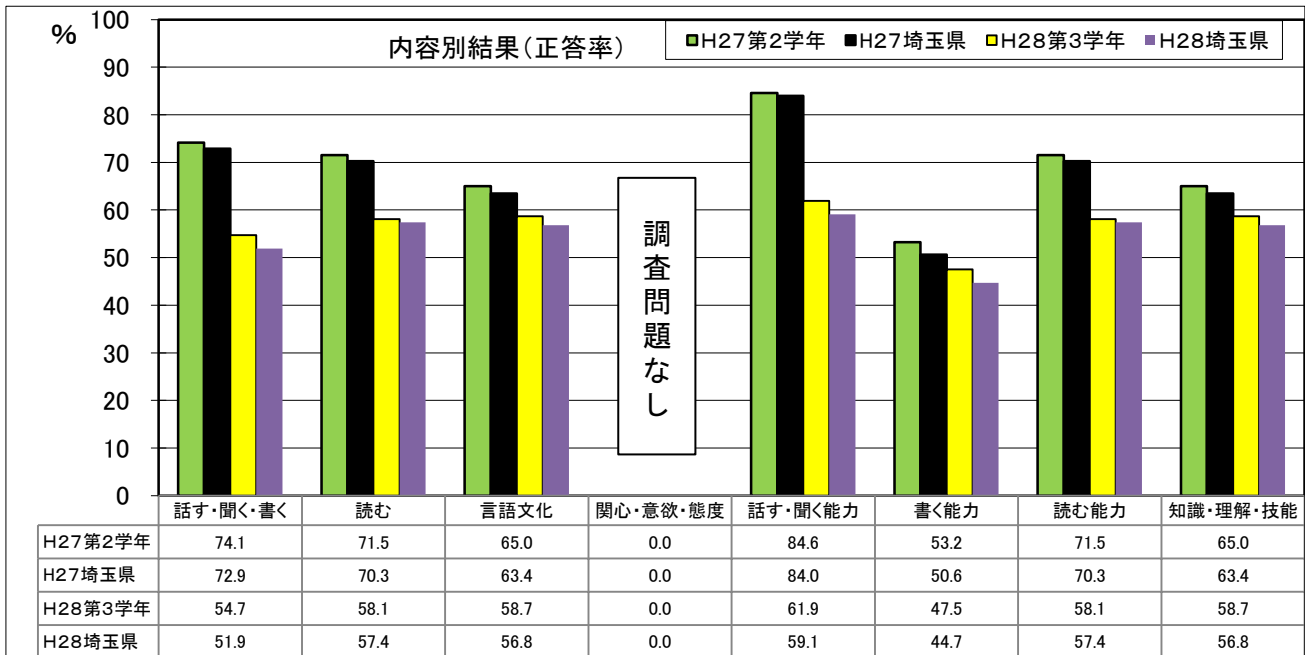
【考察】

平成28年度は、領域別の「数量関係」、観点別の「数学的な考え方」で県平均を上回っている。
前年との比較では、領域別の「図形」で正答率が上がっている。県平均との差を比較すると、領域別の「数量関係」、観点別の「数学的な考え方」で向上が見られる。

【中学校第3学年（経年変化）】

国語

《内容別結果》

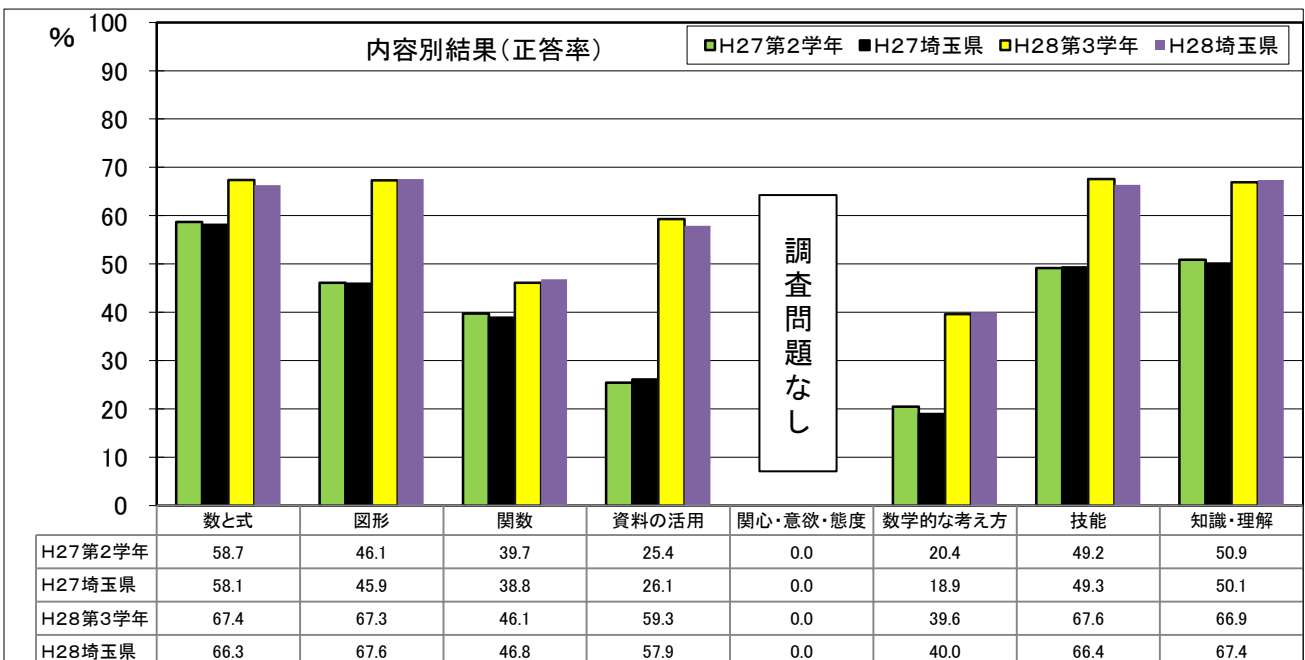


【考察】

平成28年度も、全ての領域、観点で県平均を上回っている。
正答率では、前年を下回っているものの、県平均との差を比較すると領域別の「読むこと」以外、観点別の「読む能力」以外で向上が見られる。

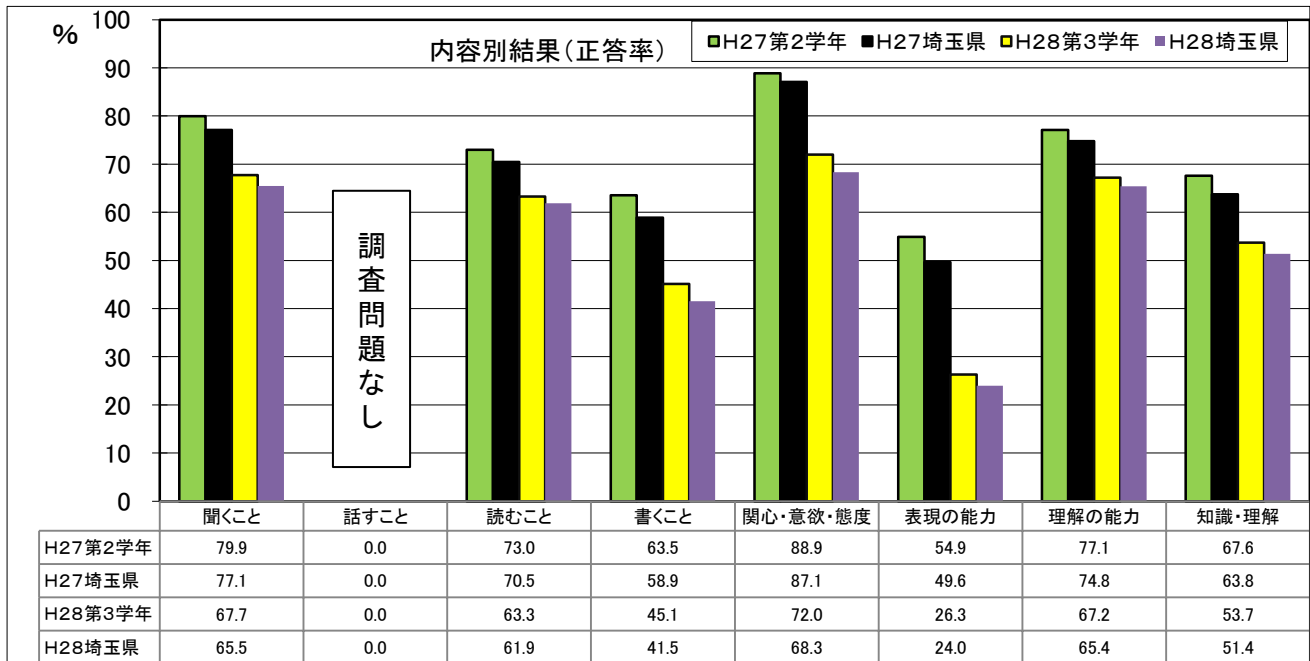
数学

《内容別結果》



【考察】

平成28年度は、領域別の「数と式」「資料の活用」、観点別の「技能」で県平均を上回っている。
前年と比較すると、全ての領域、観点で正答率が向上しているが、県平均との差を比較すると、領域別の「数と式」「資料の活用」、観点別の「技能」で向上が見られる。



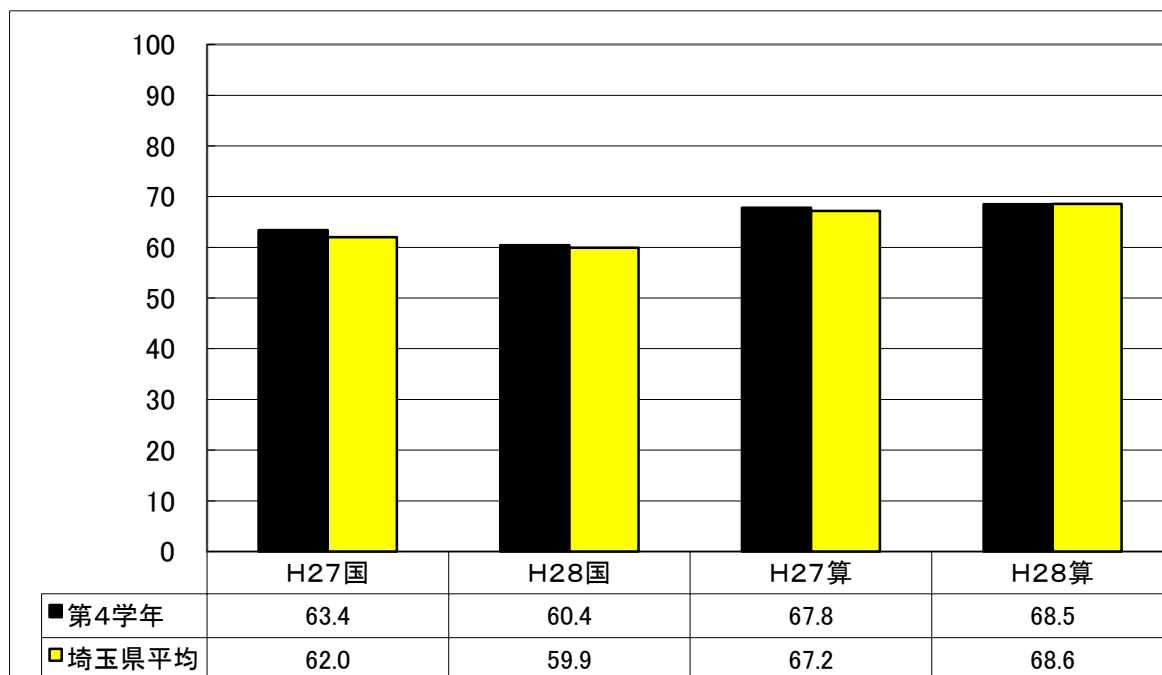
【考察】

平成28年度も、全ての領域、観点で県平均を上回っている。
前年度との比較では、全ての観点、領域で正答率が下回っており、県平均との差を比較しても下降傾向が見られる。

4 教科別調査結果(同学年比較)

(1) 教科別正答率(同学年比較)【小学校】

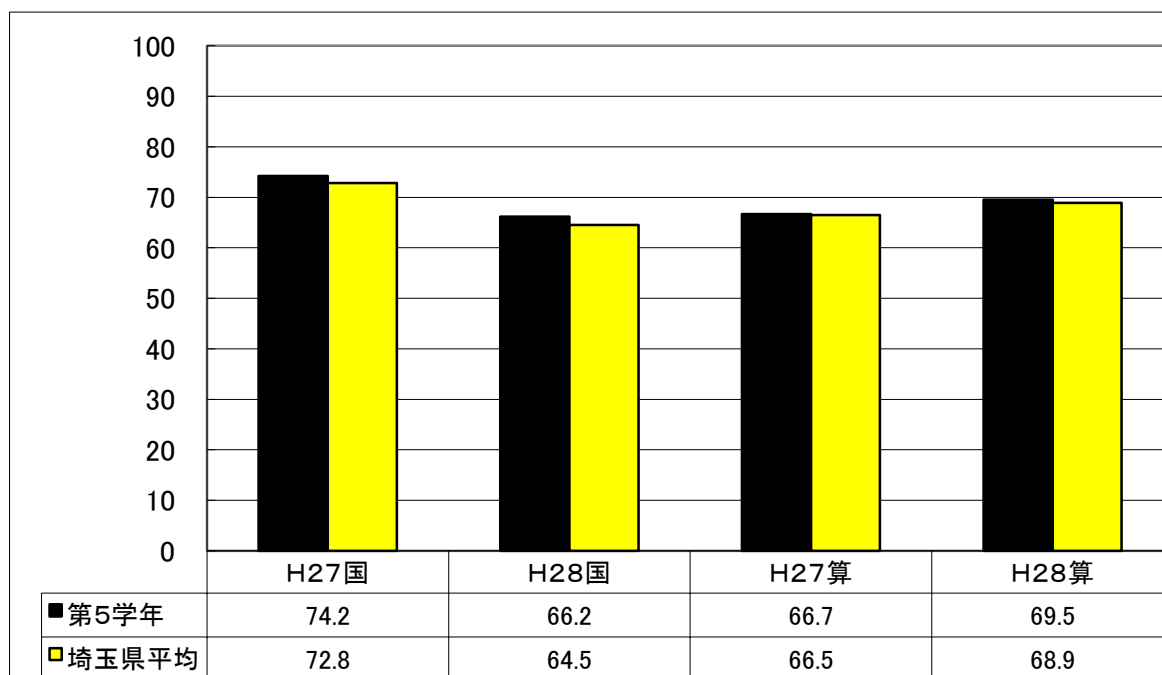
【小学校第4学年】



【考察】

平成28年度は、国語で県平均を上回っている。
国語、算数ともに、県平均との差で昨年度を下回っている。

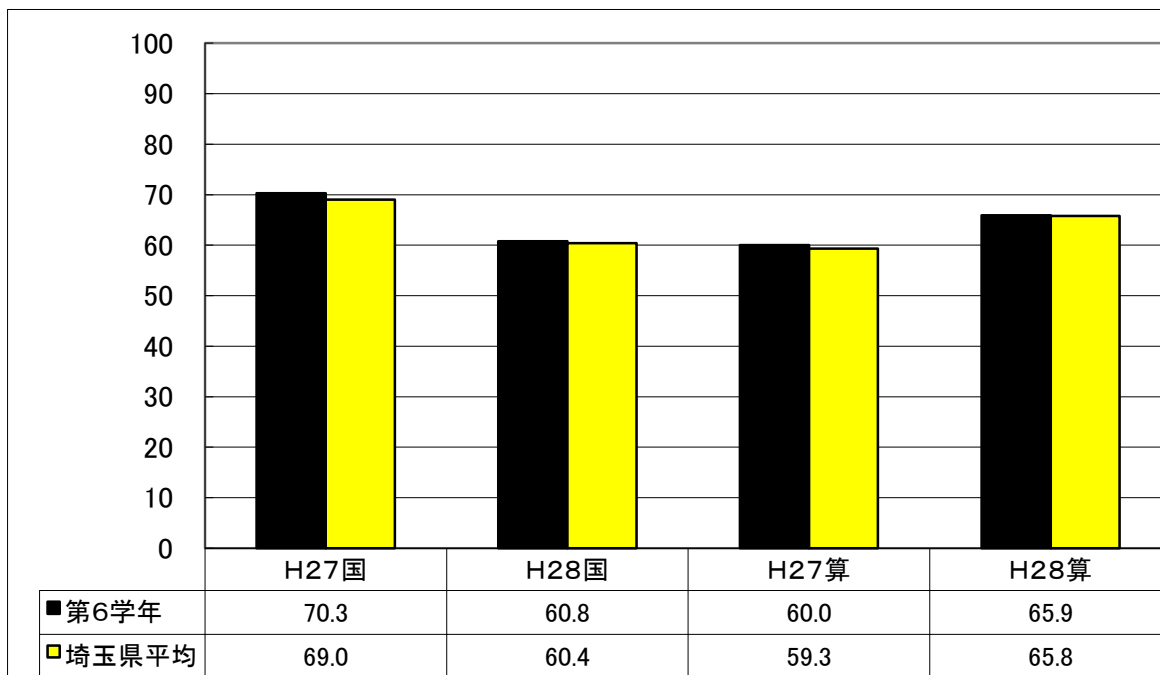
【小学校第5学年】



【考察】

平成28年度も、国語、算数ともに、県平均を上回っている。
国語、算数ともに、わずかではあるが県平均との差で昨年度を上回っている。

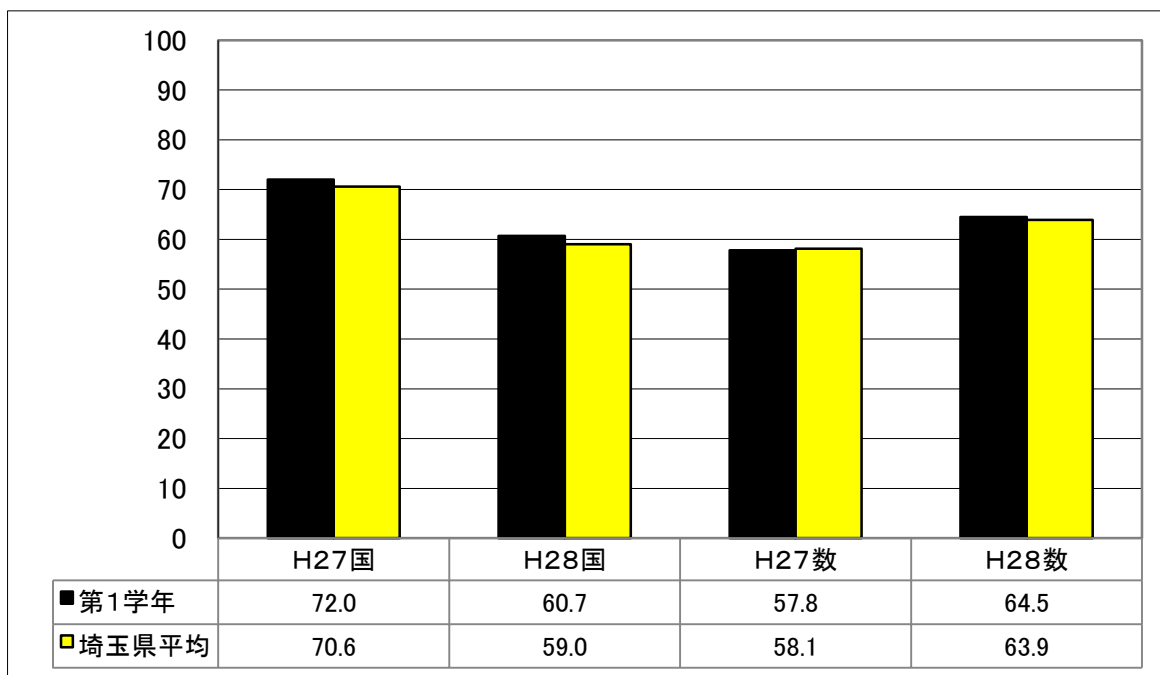
【小学校第6学年】



【考察】
 平成28年度も、国語、算数ともに、県平均を上回っている。
 国語、算数ともに、県平均との差で昨年度を下回っている。

教科別正答率（同学年比較）【中学校】

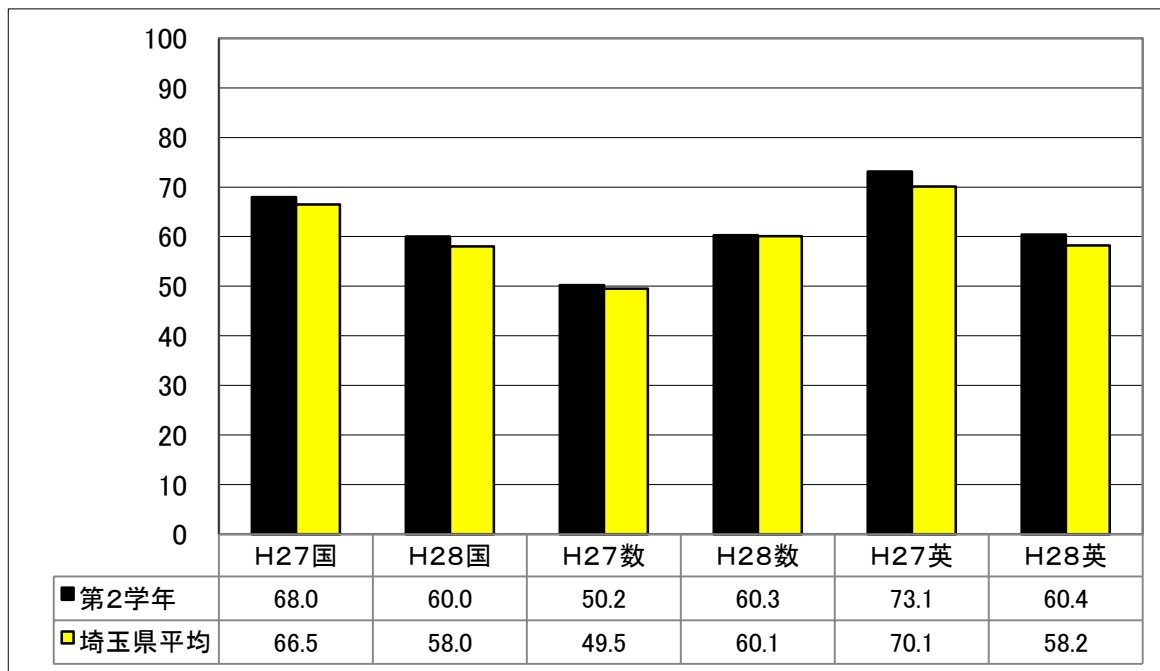
【中学校第1学年】



【考察】

平成28年度は、国語、数学ともに、県平均を上回っている。
国語、数学ともに、県平均との差で昨年度を上回っている。

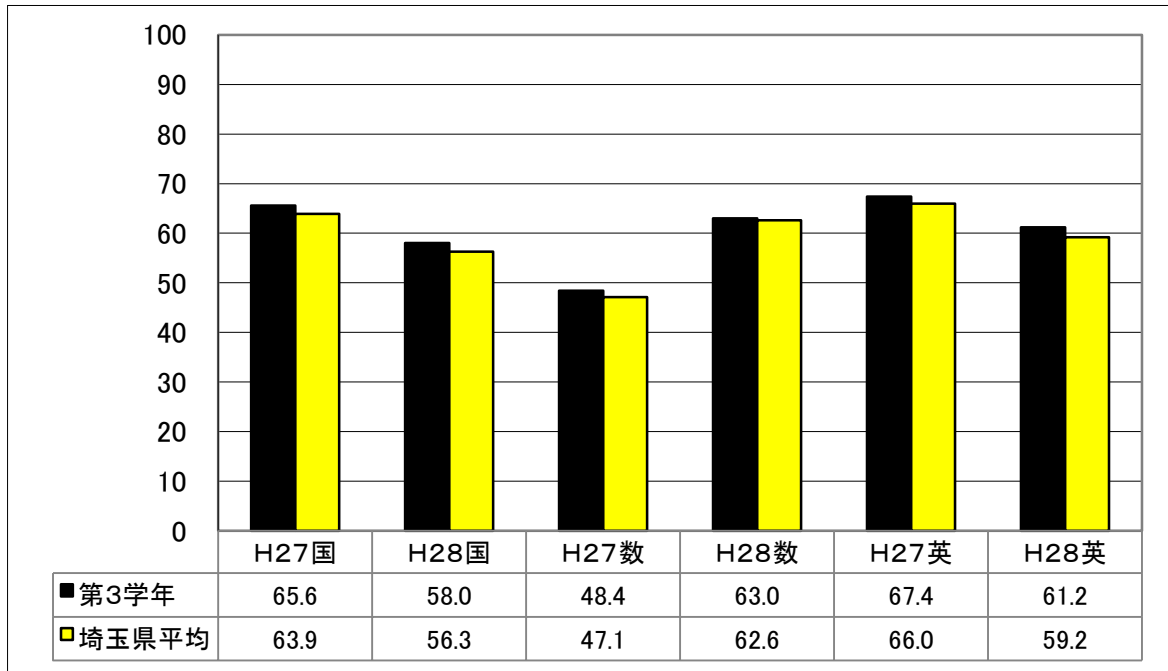
【中学校第2学年】



【考察】

平成28年度も、国語、算数、英語ともに、県平均を上回っている。
国語の県平均との差で昨年度を上回っている。

【中学校第3学年】



【考察】

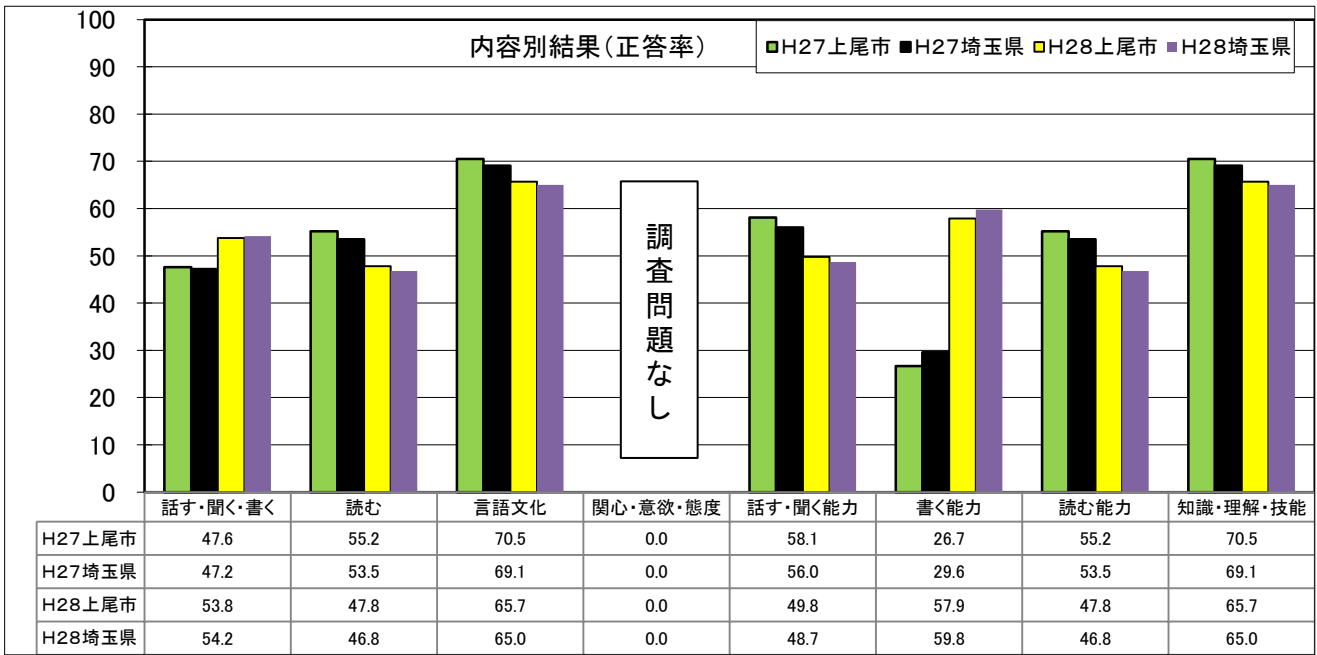
平成28年度も、国語、算数、英語ともに、県平均を上回っている。
英語の県平均との差で昨年度を上回っている。

(2) 領域別・観点別調査結果 (同学年比較) 【小学校】

【小学校第4学年 (同学年比較)】

国語

《内容別結果》

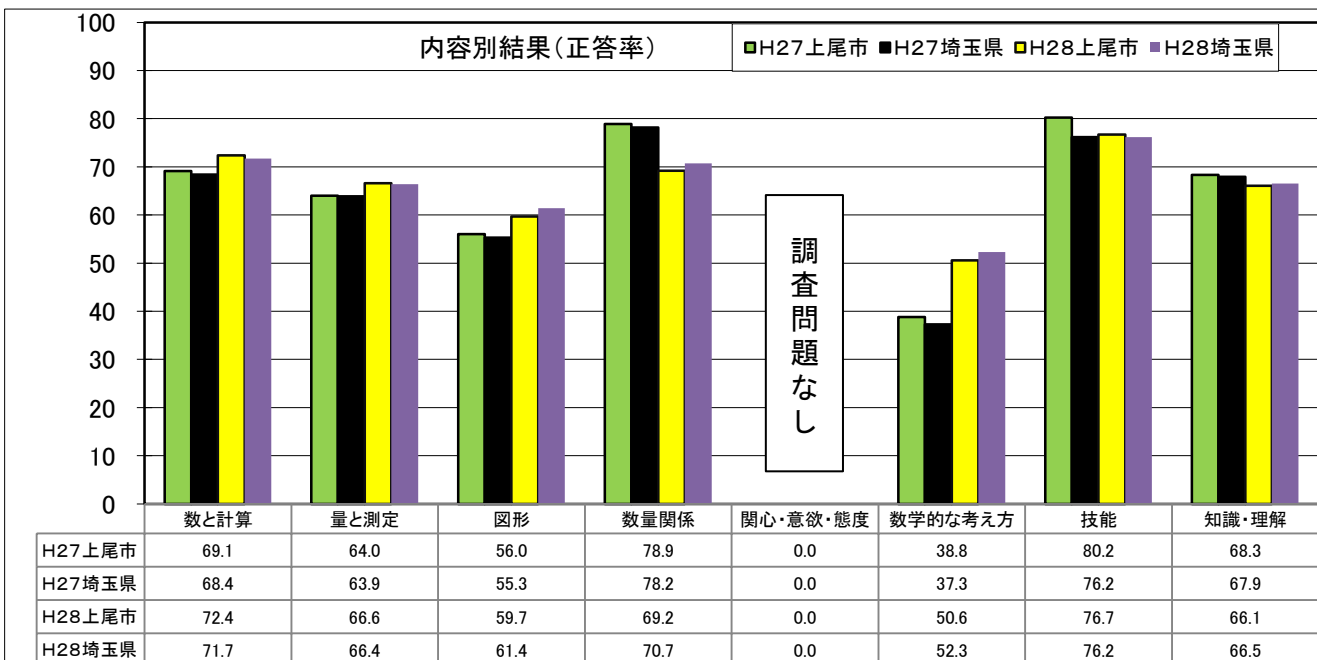


【考察】

領域別では「話すこと・聞くこと・書くこと」以外、観点別では「書く能力」以外で県平均を上回っている。観点別の「書く能力」で昨年度に比べて、県平均比較で向上が見られる。問題別では、「話題について自分の考えとその理由を二段落構成で書く」「同音の漢字の中から文脈に合うものを選択する」「ローマ字表記のまちがっているものを選択する」ことが県の正答率を下回っている。ほぼ全ての問題で、県の無解答率を下回っている。

算数

《内容別結果》



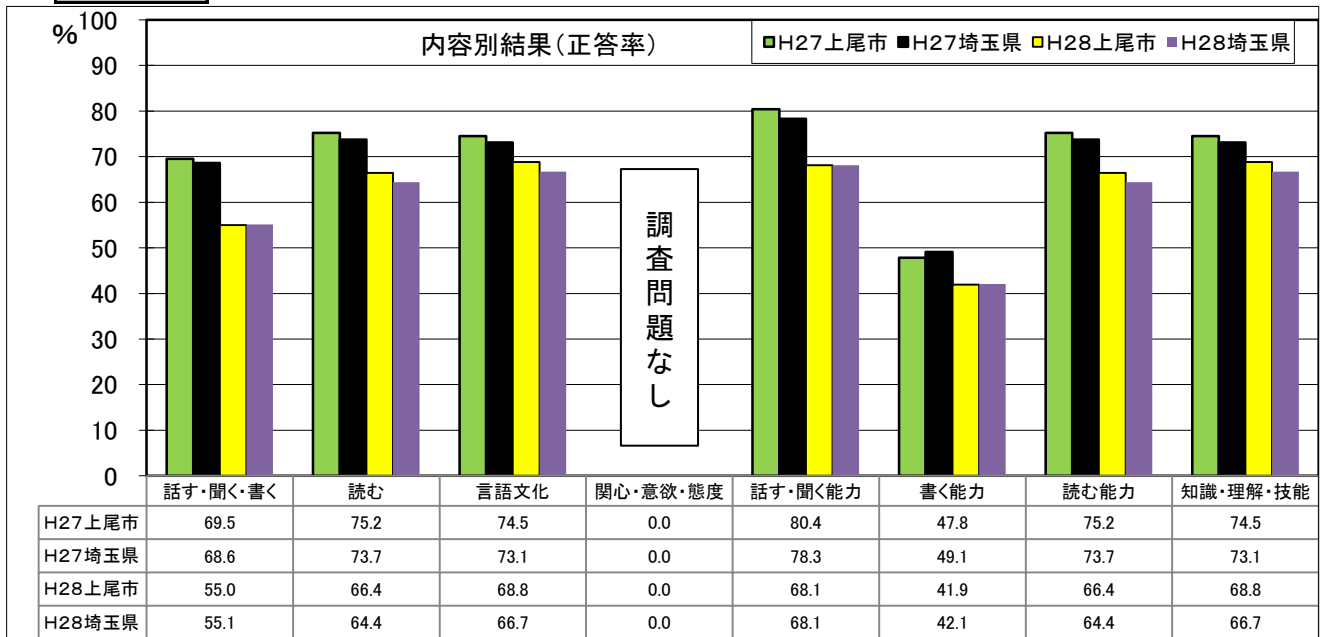
【考察】

領域別では、「図形」「数量関係」以外で、観点別では、「数学的な考え方」「知識・理解」以外で県平均を上回っている。領域別の「量と測定」で昨年度に比べ、県平均比較でやや向上が見られる。問題別では「等分してできる量を分数で表す」「ある時間を秒で表す」「10,000より大きい数を数字で書く」ことが県の正答率を下回っている。「等分してできる量を分数で表す」ことで、県の無解答率を上回っている。

【小学校第5学年（同学年比較）】

国語

《内容別結果》

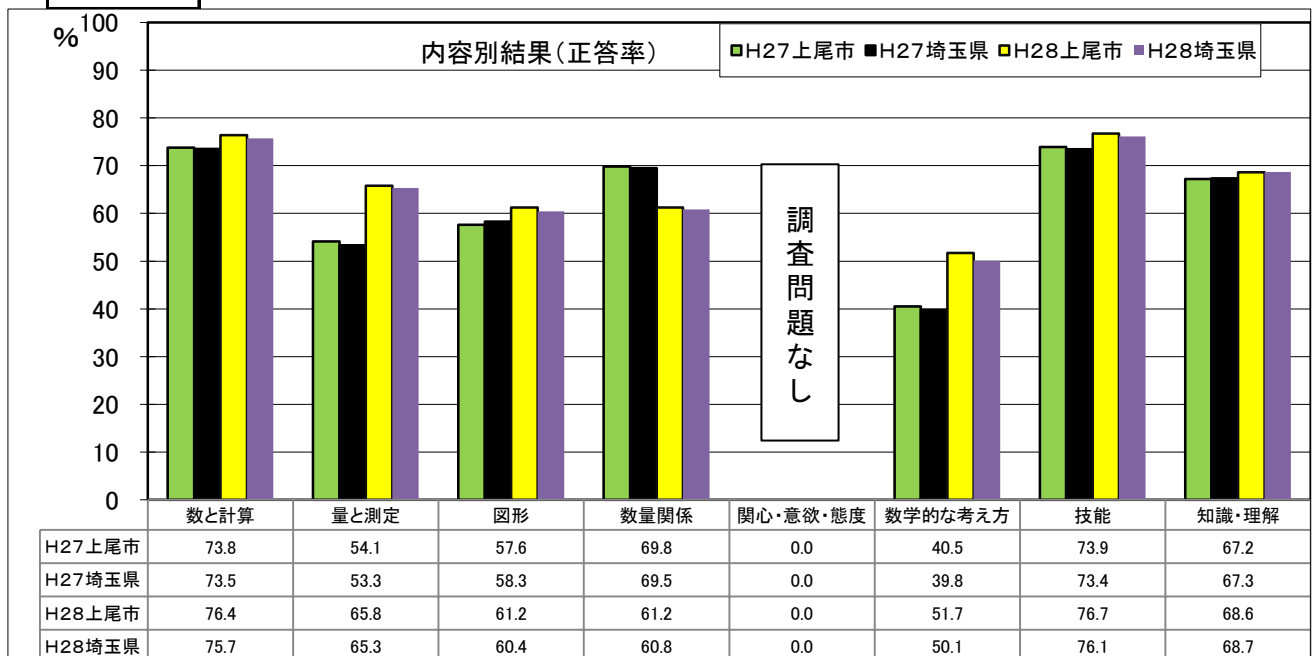


【考察】

領域別では「話すこと・聞くこと・書くこと」以外、観点別では、「書く能力」以外で県平均を上回っている。
 領域別の「読むこと」「言語文化」、観点別の「書く技能」「読む技能」「知識・理解」で、昨年度に比べ、県平均比較で向上が見られる。
 問題別では「話題に対する自分の考えと、そのように考える理由を資料の内容に基づいて二段落構成で書く」「いろいろな意味を持つ漢字の中で同じ意味で使われている言葉を選択する」ことが、県の正答率を下回っている。「話を聞いた後に質問すべき内容として適切なものを選択する」「話題に対する自分の考えと、そのように考える理由を資料の内容に基づいて二段落構成で書く」ことについては、県の無解答率を上回っている。

算数

《内容別結果》



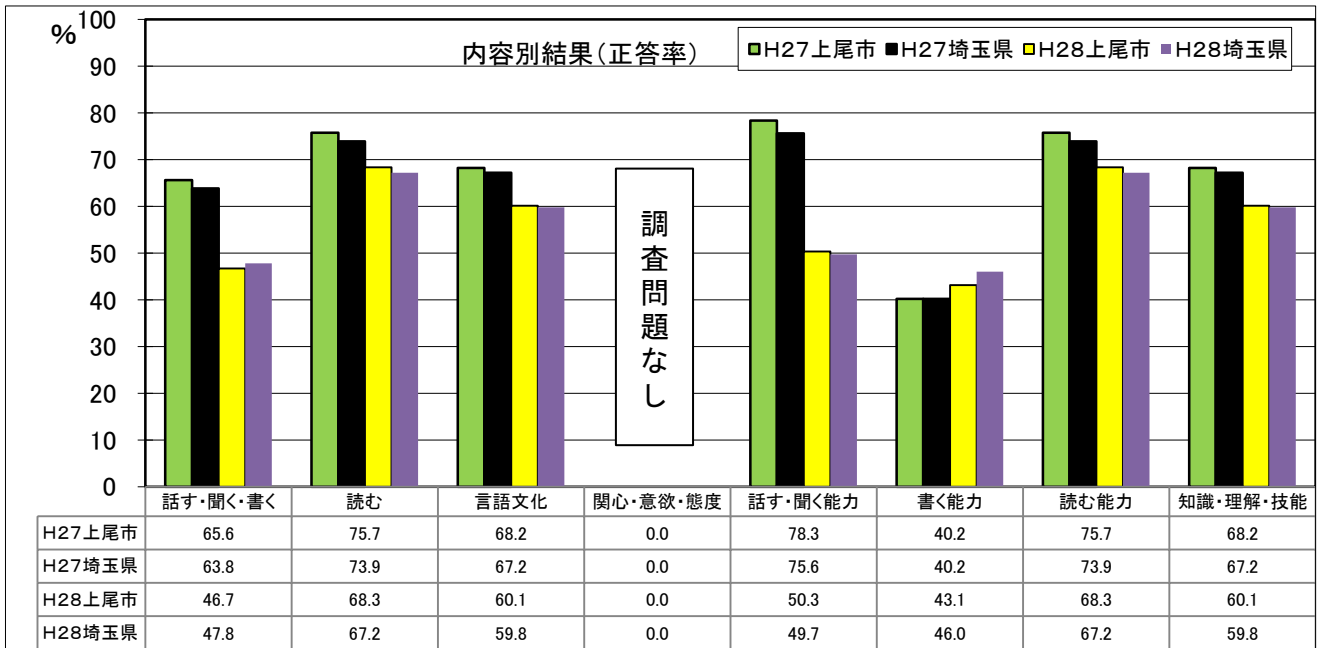
【考察】

全ての領域及び、「知識・技能」以外の観点で、県平均を上回っている。
 領域別の「量と測定」以外、観点別の「知識・理解」以外で、昨年度の県平均比較で向上が見られる。
 問題別では「わり算の計算をするときの工夫の仕方を書く」「分度器を使って90°より大きい角の大きさを答える」ことで、県の正答率を下回っている。多くの問題で、数値はわずかだが県の無解答率を上回っている。「わり算の計算をするときの工夫の仕方を書く」「表からあてはまる数を求める」「文章を読み（ ）を用いた1つの式に表したとき、適切なものを選ぶ」で無解答率が高かった。

【小学校第6学年（同学年比較）】

国語

《内容別結果》



【考察】

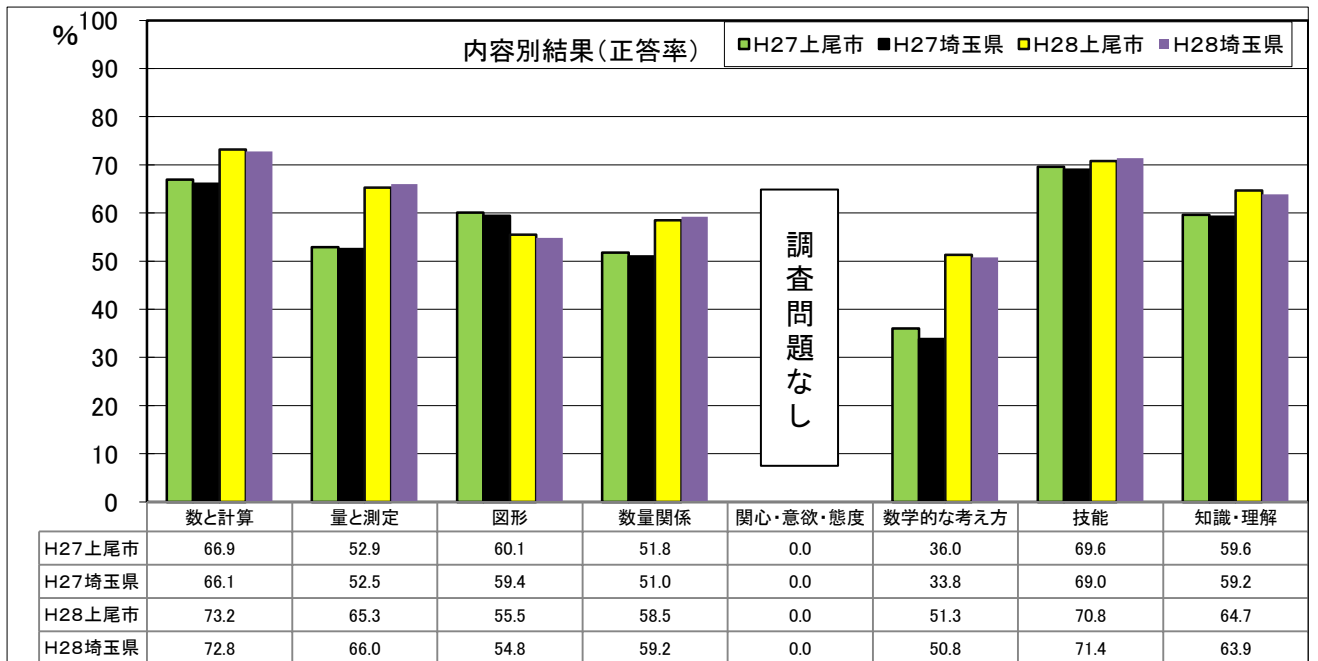
領域別では「話すこと・聞くこと・書くこと」以外、観点別では、「書く能力」以外で県平均を上回っている。

領域別、観点別ともに、各項目で昨年度に比べ、県平均比較で下回っている。

問題別では「文中から主語を書きぬく」「複数の意味に読める一文に、特定の意味に読めるよう句読点を打つ」「一文の修飾語に対する被修飾語を選択する」ことで県の正答率を下回っている。ほとんどの設問で県の無解答率を下回っている。

算数

《内容別結果》



【考察】

領域別では「量と測定」「数量関係」以外、観点別では「技能」以外で県平均を上回っている。

観点別の「知識・理解」で昨年度に比べ、県平均比較で向上している。

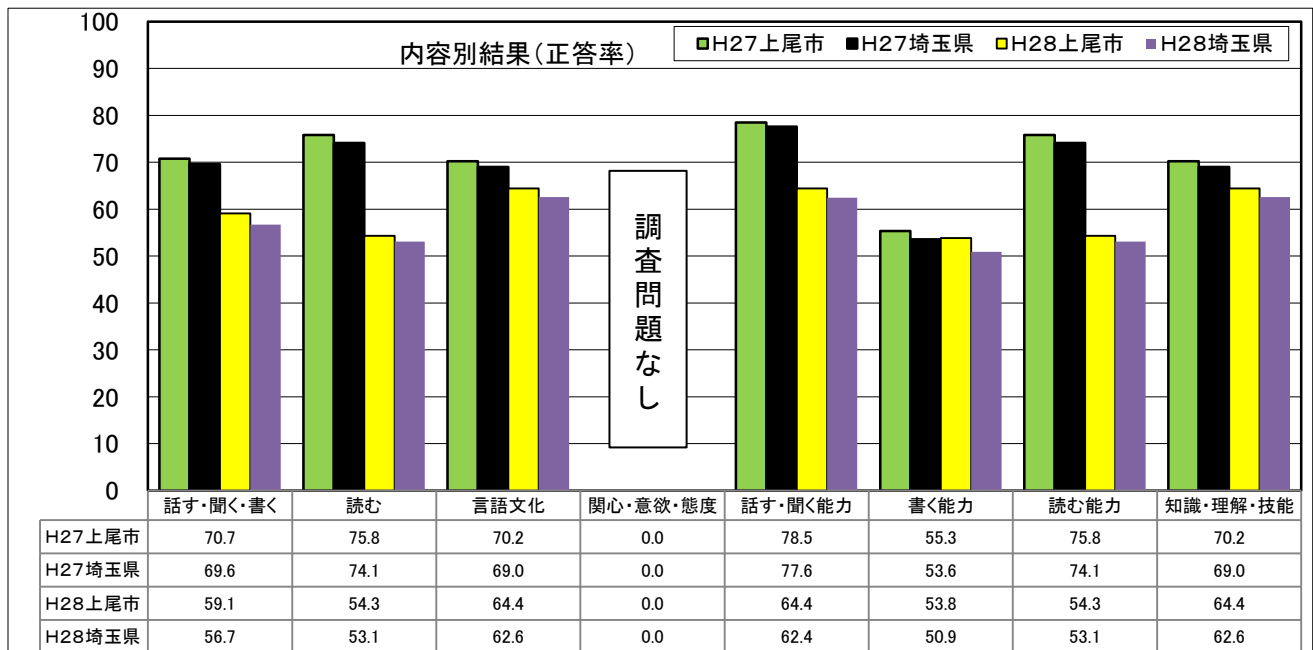
問題別では「三角形の面積を求める」「直方体について、ある辺と垂直な辺をすべて答える」で県の正答率を下回っている。「単位量あたりの大きさを表した図を選ぶ」「表の1辺の長さとその周りの長さの関係について適切なものを選ぶ」で県の無解答率を上回っている。

領域別・観点別調査結果（同学年比較）【中学校】

【中学校第1学年（同学年比較）】

国語

《内容別結果》



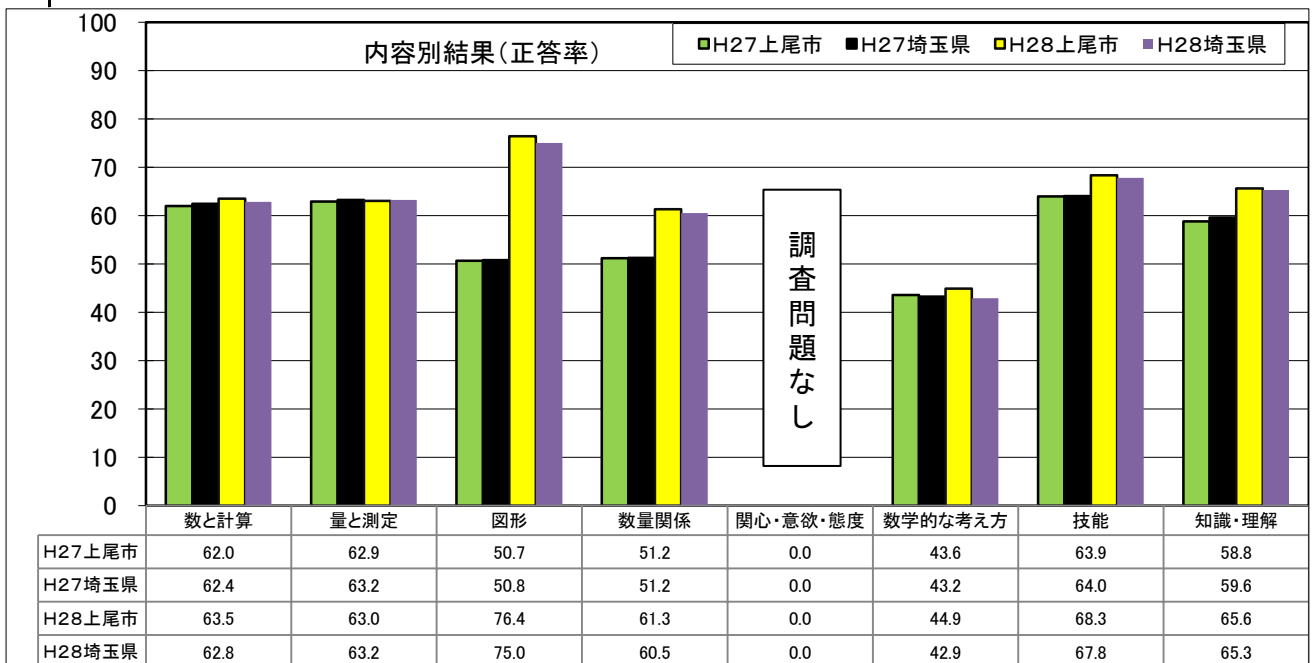
【考察】

全ての領域、観点で県平均を上回っている。

領域別の「読むこと」以外、観点別の「読む能力」以外で、昨年度の県平均比較で伸びが見られる。

問題別では「適切な敬語を用いて文を直す」「本文の空欄にあてはまる文脈に沿った言葉を選択する」で県平均を下回っている。無解答率は、県平均に比べて全体的に低い傾向が見られる。

数学(算数)《内容別結果》



【考察】

領域別の「量と測定」以外の領域、観点で県平均を上回っている。

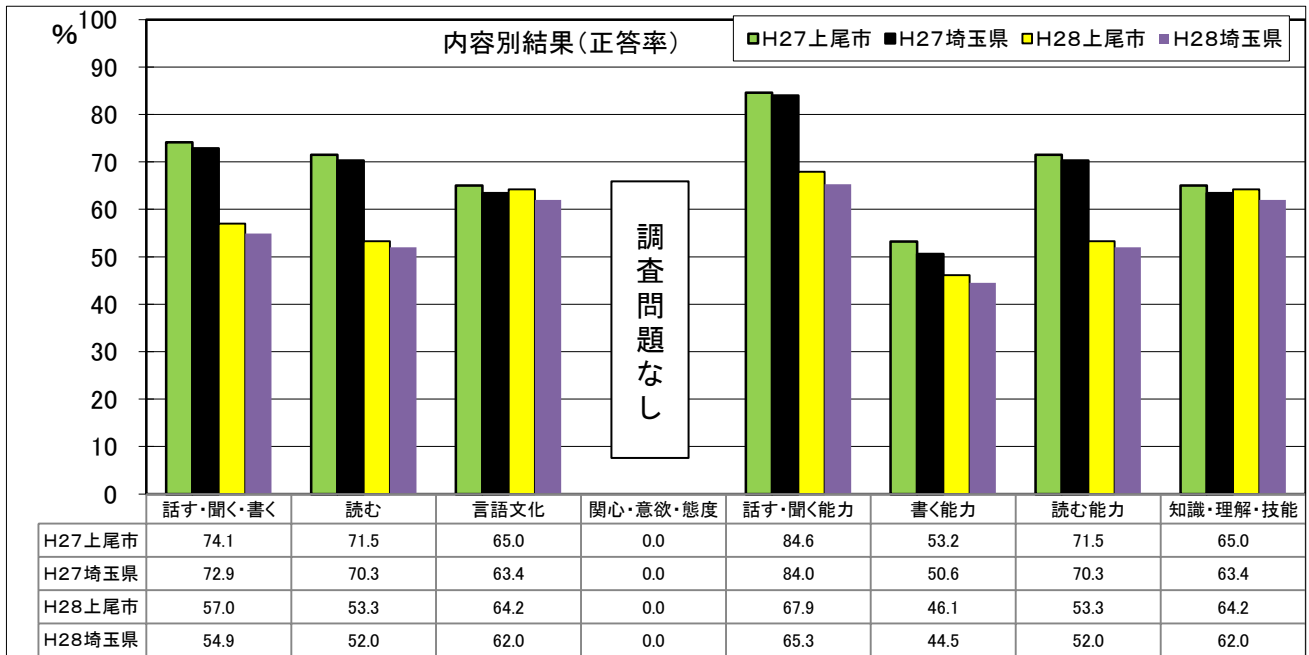
全ての観点、領域で県平均との比較で伸びが見られる。

問題別では「円の面積から半径を選ぶ」「小数の逆数として適切なものを選ぶ」で県平均を下回っている。無解答率は県平均と比べてわずかではあるが、上回っている項目が多く、特に、「四角柱の体積を求める」「分数や小数の計算を用いて、文章題を解く」「比例のグラフからxとyの関係を式に表す」で県平均を上回っている。

【中学校第2学年（同学年比較）】

国語

《内容別結果》

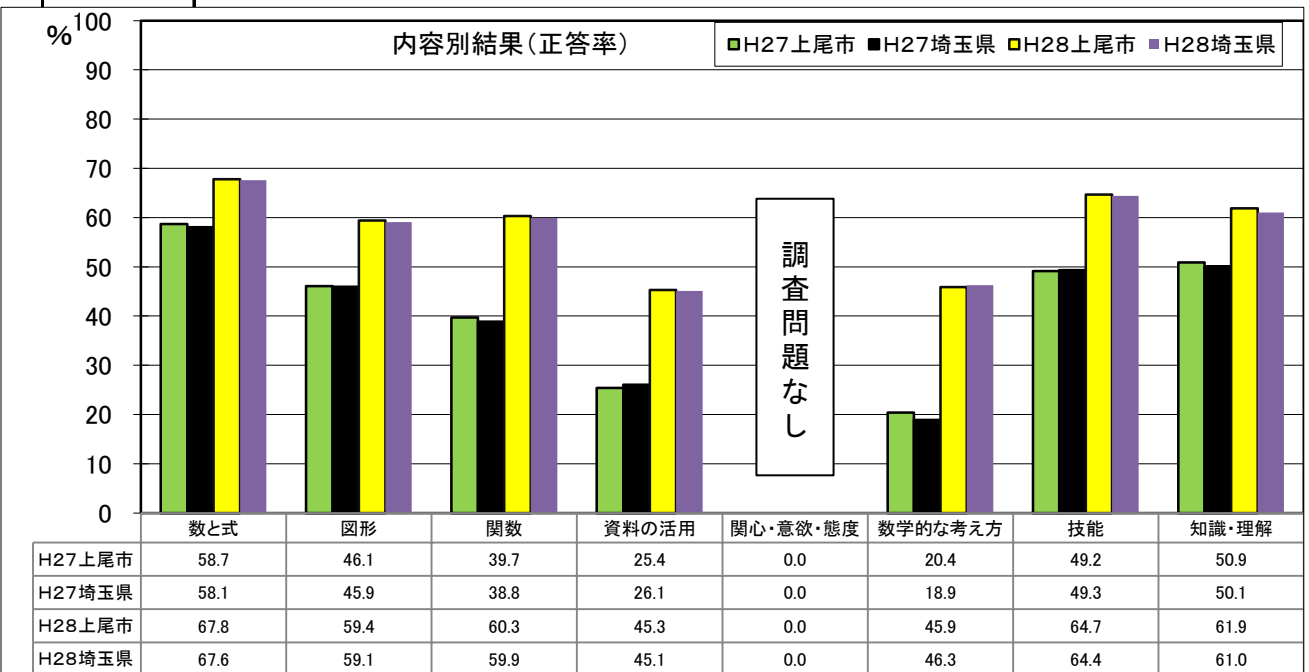


【考察】

全ての領域、観点で県平均を上回っている。
 全ての領域、及び、観点別の「書く能力」以外で県平均比較で伸びが見られる。
 問題別では、「文脈に合う四字熟語を選択する」「いろいろな使い方を持つ言葉の中で同じ使い方のものを選択する」で県平均を下回るものの、それ以外は全て上回っている。無解答率は県平均に比べ低い項目が多いが、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して書く」で上回っている。

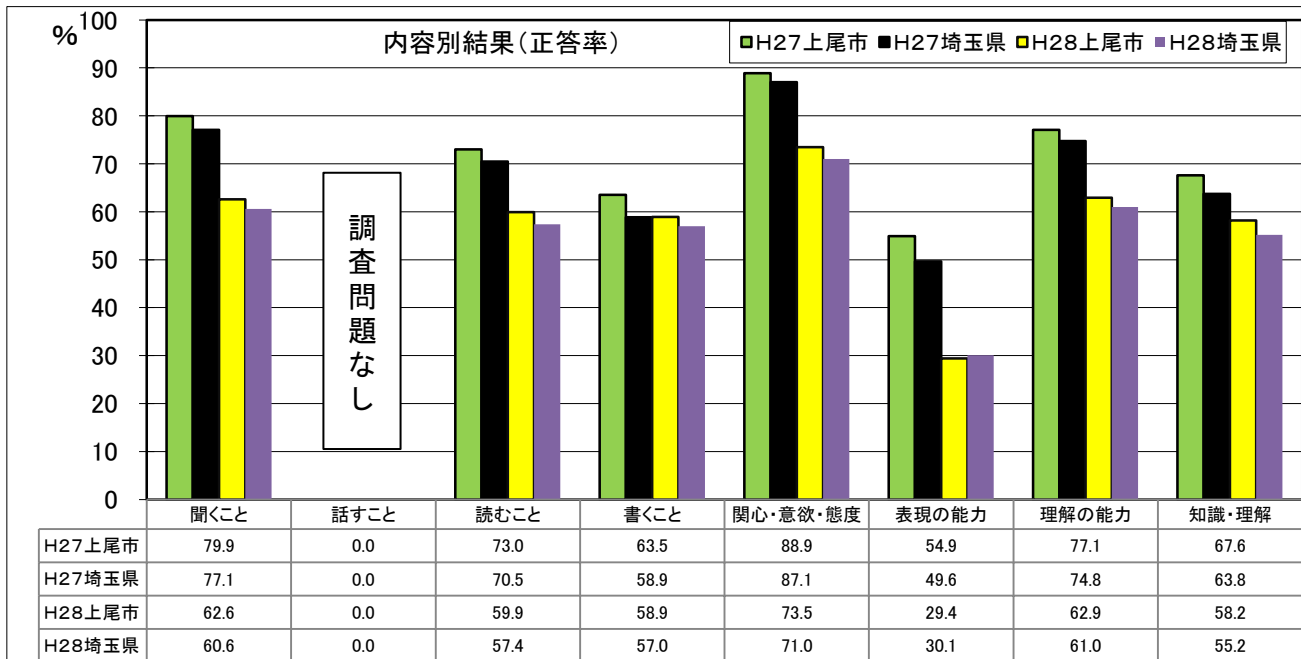
数学

《内容別結果》



【考察】

観点別の「数学的な考え方」以外の領域、観点で県平均を上回っている。
 領域別の「図形」「資料の活用」、観点別の「技能」「知識・理解」で県平均比較で伸びが見られる。
 問題別では、「扇形の弧の長さを求める」「四角柱の体積を求める」「比例の式から適切なグラフを選ぶ」で県平均を下回っている。無解答率では、わずかではあるが県平均を上回る項目が多く、特に「四角柱の体積を求める」で大きく上回っている。



【考察】

観点別の「表現の能力」以外の領域、観点で県平均を上回っている。

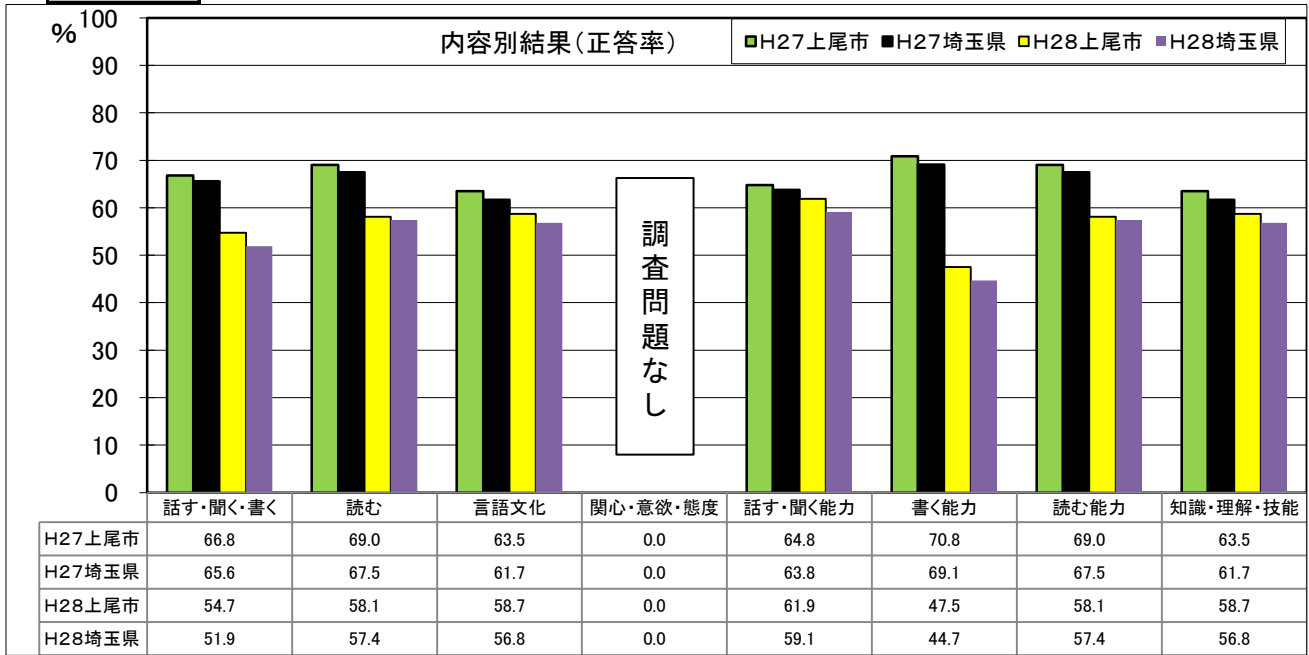
観点別の「関心・意欲・態度」で、県平均比較で伸びが見られる。

問題別では、県平均を上回っている項目が多いが、「英文が完成するように、()にあてはまる正しい英語 (be動詞) を選ぶ」で県平均を下回っている。無解答率では、「英語の文章を選んで、日本語の質問に対する答えを選ぶ」で上回っている。

【中学校第3学年（同学年比較）】

国語

《内容別結果》



【考察】

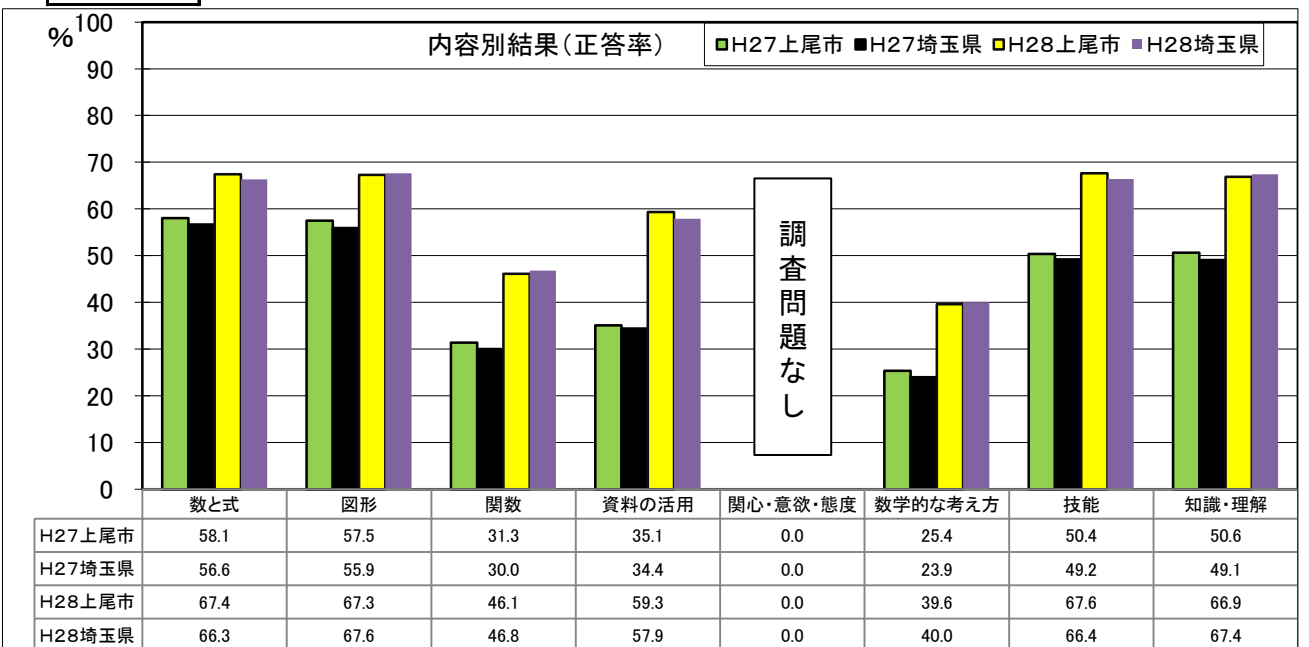
全ての領域・観点で県平均を上回っている。

領域別の「読むこと」以外、観点別の「読む能力」以外の項目で、県平均比較で伸びが見られる。

問題別では、「文学的な文章で筆者の心情の説明として適切なものを選択する」「行書で書かれた漢字を楷書に書き直す」で県平均を下回っている。無解答率は全体的に県平均を下回る項目が多いが、「活用が同じ動詞を選び、その活用形を選択する」で上回っている。

数学

《内容別結果》

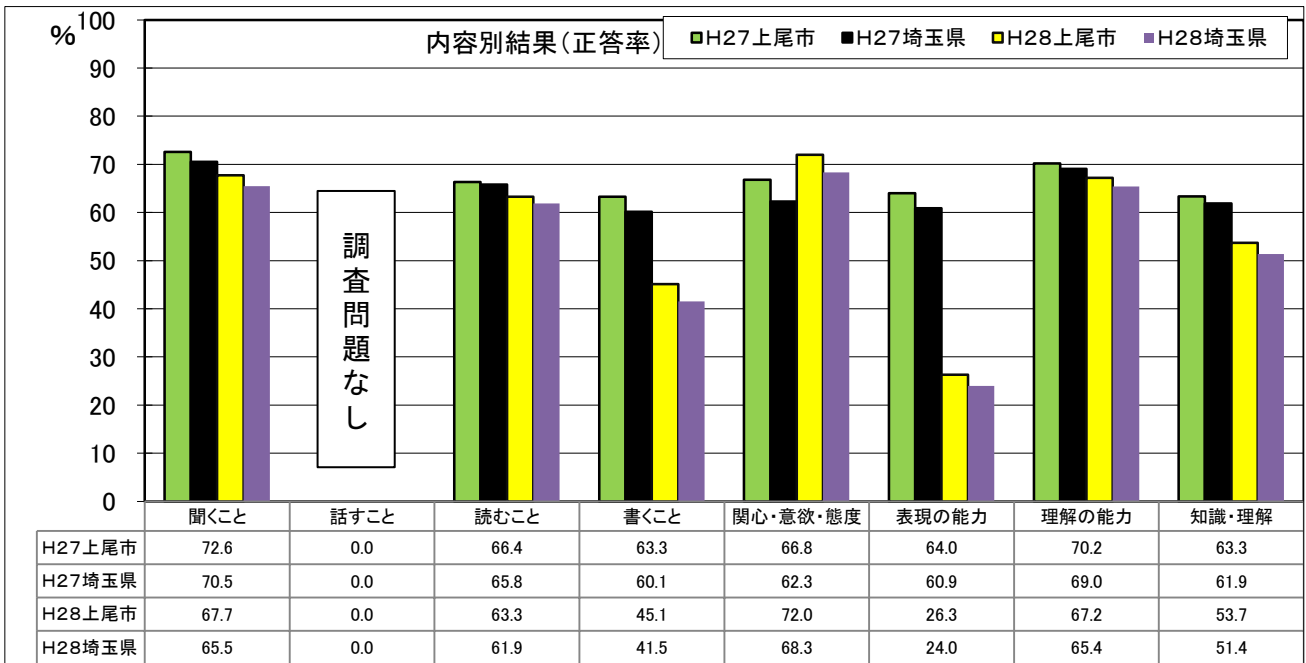


【考察】

領域別の「数と式」「資料の活用」、観点別の「技能」で県平均を上回っている。

領域別の「資料の活用」、観点別の「技能」で、県平均比較で伸びが見られる。

問題別では、「文章を読み、連立方程式をつくる」「一次関数のグラフから、傾きと切片の正負の組み合わせとして適切なものを選ぶ」「2つの直線の式からその交点を求める」で、県平均を下回っている。無解答率では、全体的に県平均を上回る項目が多く、特に、「文章を読み、連立方程式を作る」「多角形の内角の和から何角形かを求める」「2点を通る一次関数の変化の割合を求める」で上回っている。



【考察】

全ての領域、観点で県平均を上回っている。
 観点別の「関心・意欲・態度」「表現の技能」以外の項目で、県平均比較で伸びが見られる。
 問題別では、ほとんどの問題で県平均を上回っているが、「様子をたずねる質問に対する答えを選ぶ」で県平均を下回っている。無解答率では、ほとんどの問題で県平均を下回っている。

5 「規律ある態度」達成目標（児童生徒対象質問紙調査結果一覧）

【小学校】

内容	項目		小4	小5	小6	(%)
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時刻	93.6	95.1	96.0	
			92.4	94.5	94.8	
		②授業開始時刻	94.4	96.0	97.3	
			92.9	95.2	95.6	
	2 身の回りの整理整頓をする	③靴そろえ	87.5	89.8	90.7	
			84.7	87.2	87.5	
	④整理整頓	83.8	84.5	84.9		
		82.8	84.6	84.7		
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んで返事をすすめる	⑤あいさつ	82.7	83.1	83.3	
			81.3	81.8	80.8	
		⑥返事	90.1	90.9	90.9	
			88.7	89.6	89.7	
	4 葉っぱのいい言葉を身につける	⑦ていねいな言葉づかい	88.0	90.6	92.3	
			86.1	87.4	89.8	
	⑧やさしい言葉づかい	87.2	87.4	87.7		
		84.0	84.2	83.4		
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る	⑨学習準備	84.5	87.1	88.8	
			81.0	85.9	85.1	
		⑩話を聞き発表をする	81.3	78.7	75.1	
			79.4	76.8	73.5	
	6 生活のきまりを守る	⑪集団の場での態度	85.2	91.0	88.8	
			84.3	89.2	87.1	
	⑫掃除・美化活動	90.7	91.5	90.5		
		88.2	89.6	87.5		

※ 表中の数字は、児童質問紙調査で児童生徒が「できる」（「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合（達成率）
（上段は上尾市、下段は埼玉県の達成率）

※ 網掛けは、県の達成率を下回っている項目

【中学校】

内容	項目		中 1	中 2	中 3	
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時刻	98.5 97.6	97.7 97.1	96.6 95.9	
		②授業開始時刻	98.8 98.1	97.4 97.1	97.0 96.3	
	2 身の回り の整理 をす る整	③靴そろえ	93.1 92.3	91.2 90.8	90.0 89.7	
		④整理整頓	86.6 85.7	85.8 84.3	84.3 83.3	
	○礼儀正しく人と接することができる	3 つ進 やん 返で 事を いさ す	⑤あいさつ	86.8 85.7	84.6 84.0	80.5 81.7
			⑥返事	91.9 91.3	88.7 87.1	86.5 86.3
4 に葉 つつ い けか ね い い を な 身 言		⑦ていねいな言葉づかい	95.2 92.3	92.7 90.1	91.1 90.3	
		⑧やさしい言葉づかい	93.5 89.9	86.6 84.6	86.6 84.5	
○約束やきまりを守ることができる		5 を学 守習 の き ま り	⑨学習準備	93.4 92.0	88.6 87.5	86.7 86.0
			⑩話を聞き発表をする	80.2 77.6	71.9 67.7	68.2 66.4
	6 を生 守活 の き ま り	⑪集団の場での態度	95.1 93.6	92.0 91.2	91.2 91.6	
		⑫掃除・美化活動	91.8 87.9	83.5 83.7	80.9 82.2	

※ 表中の数字は、生徒質問紙調査で児童生徒が「できる」（「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合（達成率）
（上段は上尾市、下段は埼玉県の達成率）

※ 網掛けは、県の達成率を下回っている項目

6 まとめ

埼玉県学力・学習状況調査の結果から、小学校は4年の算数以外の教科で、中学校は全ての教科で埼玉県の平均正答率を上回っている。

教科の内容別の結果においては、国語科では小学校第4・5・6学年の領域の「話すこと・聞くこと・書くこと」、観点の「書く能力」以外は埼玉県の平均正答率を上回っている。中学校では全ての項目で埼玉県の平均正答率を上回っている。算数では小学校第4学年の領域の「図形」「数量関係」、観点の「数学的な考え方」「知識・理解」第5学年の観点の「知識・理解」、第6学年の領域の「数量関係」、観点の「技能」以外で埼玉県の平均正答率を上回っている。中学校では第1学年の領域の「量と測定」、第2学年の観点の「数学的な考え方」、第3学年の領域の「図形」「関数」、観点の「数学的な考え方」「知識・理解」以外で埼玉県の平均正答率を上回っている。英語では第2学年の「表現の能力」以外で埼玉県の平均正答率を上回っている。

今年度の結果から、特に中学校で埼玉県の平均正答率を上回る項目が増えており、学習の成果が表れているといえる。

同学年比較では、小学校第5学年、中学校第1学年で全ての教科で上回っており、同グループの経年変化では、中学校第1学年から第2学年にかけて、国語、算数ともに伸びが見られている。また、小学校第4学年から第5学年、中学校の全ての学年の国語で伸びが見られた。

これは、教員一人一人が一時間一時間の授業を充実させ、学力向上に向けて着実に取り組んできたこと、「学力向上プラン」に基づいた取組が充実してきたこと、委嘱研究や自主研究を組織的・計画的に行うことで教員の指導力が向上したことなどが要因であると考えられる。

学校別に見ると、各教科の内容・観点について、埼玉県の平均正答率を下回る学校がある。各学校において、自校の学習状況調査結果から成果と課題を明確にして「学力向上プラン」を改善するとともに、児童生徒一人一人の学習状況に応じた具体的な指導の手だてを計画して引き続き取り組むことが重要である。特に、1時間ごとの授業の充実に向けて、「学力向上プラン」の内容を具体的に行っていく必要がある。また、授業研究会・研究協議会等において、その授業における具体的な手立ての効果を検証し、さらなる改善を図ることが大切である。

「規律ある態度」達成目標に係る質問紙調査の結果、小学校第5学年「整理整頓」、中学校第2学年「清掃・美化活動」第3学年の「あいさつ」「集団の場での態度」「清掃・美化活動」で埼玉県の平均回答率を下回った。あいさつ、身の回りの整理整頓、清掃等は、充実した学校生活を送り、学力を向上させる基盤となるものである。各学校では、全教職員の共通理解の下、「教育に関する3つの達成目標（規律ある態度）」の育成や学習規律の確立に向けて家庭や地域住民等との連携を深め、実践を重ねているところである。今後も、基本的な学習規律や生活習慣の一層の確立に向

け、各学校が創意・工夫のある教育活動を展開するとともに、家庭との連携をさらに推進することが必要である。

教育委員会では、各学校が今回の調査結果を生かし、委嘱研究や授業研究会等とおして学習指導の工夫・改善を図ることができるよう支援する。また、学校・家庭・地域住民等が一層連携を深め、児童生徒一人一人の確かな学力の定着を図る取組を推進する。